

(添付資料目次)

資料1. 聖カタリナ大学松山市駅キャンパス所在地

資料2. 愛媛県内の看護系大学院の入学志願状況等

資料3. 愛媛県内の既設大学院の所在地と聖カタリナ大学大学院（仮称）の所在地

資料4. 聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）への入学意向に関するアンケート調査報告

資料5. 聖カタリナ大学人間健康福祉学部4学科の入学者の状況

資料6. 第7次愛媛県地域保健医療計画（抜粋）

資料7. 聖カタリナ大学大学院看護研究科（仮称）の設置要望書

資料8. 聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）の修了者に対する病院・医療関連施設等の採用意向に関するアンケート調査報告



資料1. 聖カタリナ大学松山市駅キャンパス所在地

愛媛県内の看護系大学院の入学志願状況等

博士前期課程（修士課程）

大学院名		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	平均
愛媛大学大学院 医学系研究科 看護学専攻	入学定員	16	16	16	16	12	
	志願者数	15	10	13	11	8	11.40
	受験者数	14	10	13	11	8	11.20
	合格者数	14	10	12	11	8	11.00
	入学者数	14	10	12	11	8	11.00
	超過率	0.88	0.63	0.75	0.69	0.67	0.72
愛媛県立医療 技術大学大学院 保健医療学研究科 看護学専攻	入学定員	5	5	5	5	5	
	志願者数	7	6	5	2	6	5.20
	受験者数	7	6	5	2	6	5.20
	合格者数	7	6	5	2	6	5.20
	入学者数	7	6	5	2	6	5.20
	超過率	1.40	1.20	1.00	0.40	1.20	1.04

※各大学のHPより本学で作成

愛媛県内の既設大学院の所在地と聖カタリナ大学大学院（仮称）の所在地



聖カタリナ大学大学院
看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）への
入学意向に関するアンケート調査報告

令和3年2月

一般財団法人 日本開発構想研究所

聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）への 入学意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

（1） 調査目的

令和4年4月に予定している聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）の開設に向けて、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）への入学意向を把握することを目的とする。

（2） 調査対象者

聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科在学生（1～4年次生） 223人

愛媛県内所在の病院、養成学校等医療関連施設等に勤務する看護職、看護教員 3,451人

（3） 調査方法

聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科在学生（1～4年次生）に対し、アンケート用紙及び聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）の概要を配布し、教室等で直接アンケート用紙に記入する方法により実施。回答用紙は大学が取りまとめ、一般財団法人日本開発構想研究所へ大学から郵送。

愛媛県内所在の病院、養成学校等医療関連施設等 176 施設の看護管理者へ依頼し、勤務する看護職、看護教員に対し、アンケート用紙及び聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）の概要を配布して、アンケート調査を実施した。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ回答者から直接郵送。

その結果、1,728人から有効回答を得た。

集計結果より、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）への入学意向を分析した。

（4） 調査実施期間

令和2年12月～令和3年2月

(5) 有効回収率等

調査対象者数：3,674 人

(内訳)

聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科在学生(1~4年次生) 223 人

愛媛県内所在の病院、養成学校等医療関連施設等に勤務する看護職、看護教員
3,451 人

有効回答者数：1,728 人

(内訳)

聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科在学生(1~4年次生) 223 人

愛媛県内所在の病院、養成学校等医療関連施設等に勤務する看護職、看護教員
1,505 人

有効回収率 : 約 47.0% (有効回答 1,728 ÷ 調査対象 3,674)

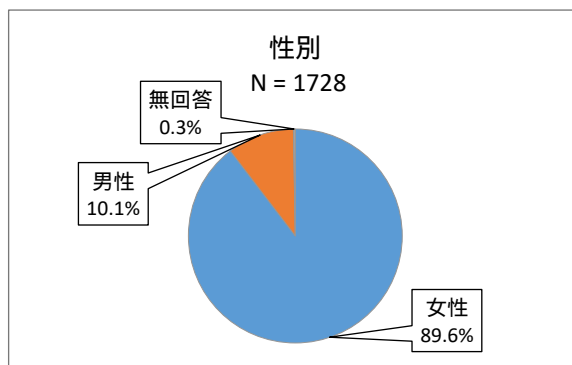
設置を構想している聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)は仮称であるが、本文中ではその旨の表示を省略した。

2. 調査結果

(1) 性別について

性別について調査した結果、回答者 1,728 人のうち、「女性」が 1,549 人 (89.6%)、「男性」が 174 人 (10.1%) の順になっている。「無回答」5 人 (0.3%)

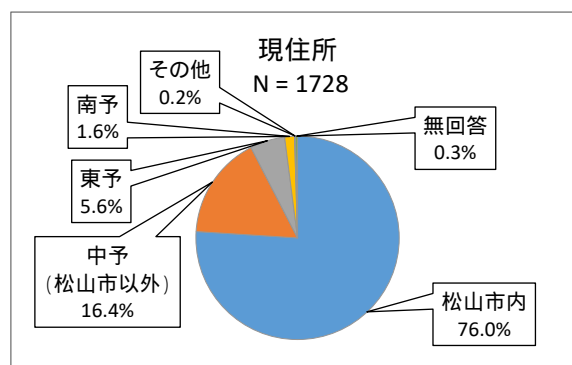
性別		
カテゴリ	件数	(全体)%
1 女性	1,549	89.6
2 男性	174	10.1
無回答	5	0.3
N (%^ -)	1,728	100



(2) 現住所について

現住所について調査した結果、回答者 1,728 人のうち、「松山市内」が 1,313 人 (76.0%) と最も多く、次いで「中予 (松山市以外)」284 人 (16.4%)、「東予」96 人 (5.6%)、「南予」27 人 (1.6%)、「その他」3 人 (0.2%) の順になっている。「無回答」5 人 (0.3%)

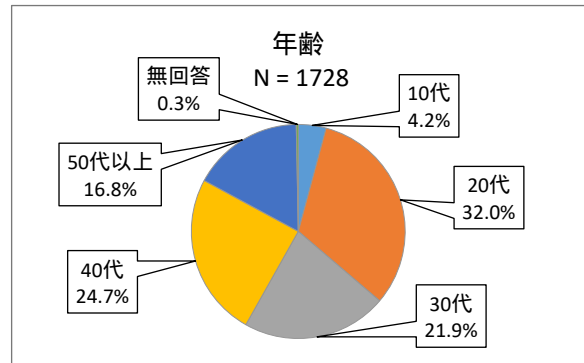
現住所		
カテゴリ	件数	(全体)%
1 松山市内	1,313	76.0
2 中予 (松山市以外)	284	16.4
3 東予	96	5.6
4 南予	27	1.6
5 その他	3	0.2
無回答	5	0.3
N (%^ -)	1,728	100



(3) 年齢について

年齢について調査した結果、回答者 1,728 人のうち、「20代」が 553 人 (32.0%) と最も多く、次いで「40代」427 人 (24.7%)、「30代」379 人 (21.9%)、「50代以上」291 人 (16.8%)、「10代」73 人 (4.2%) の順になっている。「無回答」5 人 (0.3%)

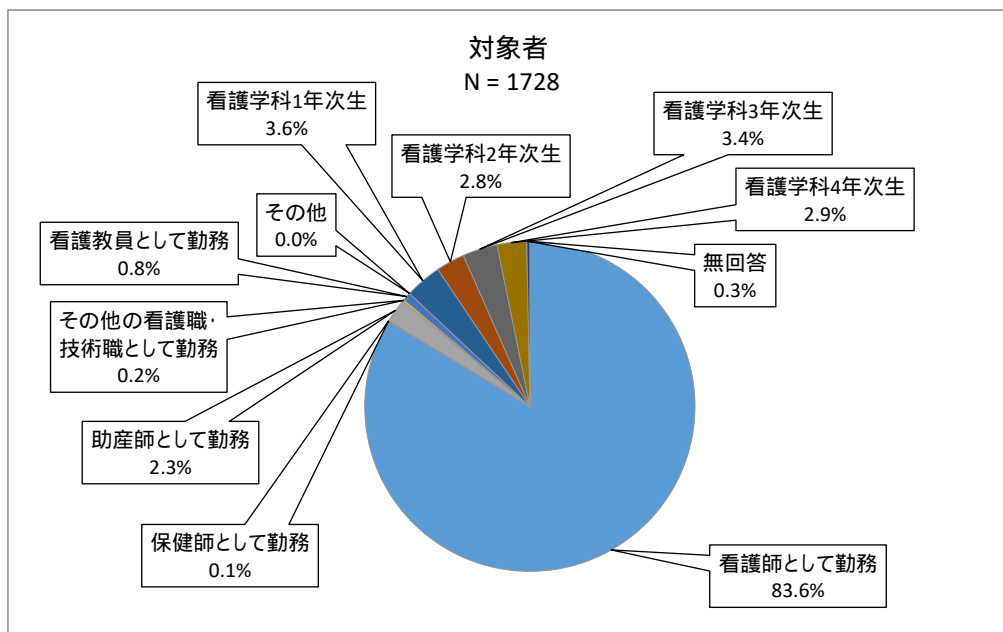
年齢			
	カテゴリ	件数	(全体)%
1	10代	73	4.2
2	20代	553	32.0
3	30代	379	21.9
4	40代	427	24.7
5	50代以上	291	16.8
	無回答	5	0.3
	N (%^'-λ)	1,728	100



(4) 対象者について

対象者について調査した結果、回答者 1,728 人のうち、「看護師として勤務」が 1,444 人 (83.6%) と最も多く、次いで「看護学科 1 年次生」63 人 (3.6%)、「看護学科 3 年次生」59 人 (3.4%)、「看護学科 4 年次生」50 人 (2.9%)、「看護学科 2 年次生」49 人 (2.8%)、「助産師として勤務」39 人 (2.3%)、「看護教員として勤務」13 人 (0.8%)、「その他の看護職・技術職として勤務」4 人 (0.2%)、「保健師として勤務」1 人 (0.1%) の順になっている。「無回答」6 人 (0.3%)

対象者		
カテゴリ	件数	(全体)%
1 看護師として勤務	1,444	83.6
2 保健師として勤務	1	0.1
3 助産師として勤務	39	2.3
4 その他の看護職・技術職として勤務	4	0.2
5 看護教員として勤務	13	0.8
6 その他	0	0.0
7 看護学科1年次生	63	3.6
8 看護学科2年次生	49	2.8
9 看護学科3年次生	59	3.4
10 看護学科4年次生	50	2.9
無回答	6	0.3
N (%への入)	1,728	100

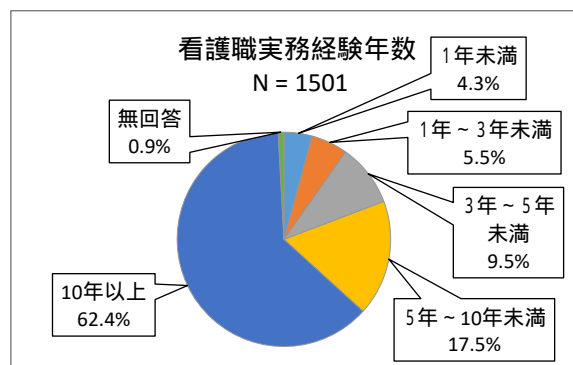


(5) 看護職実務経験年数について

「(4) 対象者について」にて「看護師として勤務」、「保健師として勤務」、「助産師として勤務」、「その他の看護職・技術職として勤務」、「看護教員として勤務」と回答した社会人 1,501 人について、通算の看護職（看護教員を含む）実務経験年数を調査した。

その結果は、「10年以上」が 937 人（62.4%）と最も多く、次いで「5年～10年未満」262 人（17.5%）、「3年～5年未満」142 人（9.5%）、「1年～3年未満」83 人（5.5%）、「1年未満」64 人（4.3%）の順になっている。「無回答」13 人（0.9%）

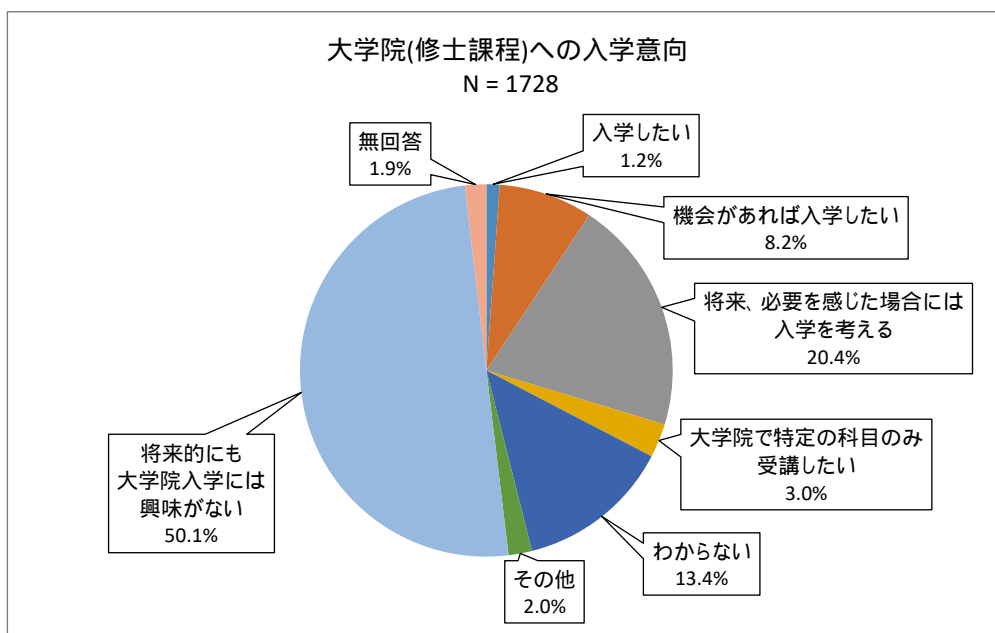
カテゴリ	件数	(全体)%
1 1年未満	64	4.3
2 1年～3年未満	83	5.5
3 3年～5年未満	142	9.5
4 5年～10年未満	262	17.5
5 10年以上	937	62.4
無回答	13	0.9
N (% [^] -λ)	1,501	100



(6) 大学院(修士課程)への入学意向について

大学院(修士課程)への入学意向について調査した結果、回答者 1,728 人のうち、「将来的にも大学院入学には興味がない」が 865 人(50.1%)と最も多く、次いで「将来、必要を感じた場合には入学を考える」352 人(20.4%)、「わからない」232 人(13.4%)、「機会があれば入学したい」141 人(8.2%)、「大学院で特定の科目のみ受講したい」51 人(3.0%)、「その他」35 人(2.0%)、「入学したい」20 人(1.2%)の順になっている。「無回答」32 人(1.9%)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 入学したい	20	1.2
2 機会があれば入学したい	141	8.2
3 将来、必要を感じた場合には入学を考える	352	20.4
4 大学院で特定の科目のみ受講したい	51	3.0
5 わからない	232	13.4
6 その他	35	2.0
7 将来的にも大学院入学には興味がない	865	50.1
無回答	32	1.9
N (%への入)	1,728	100



(7) 大学院(修士課程)への入学理由について

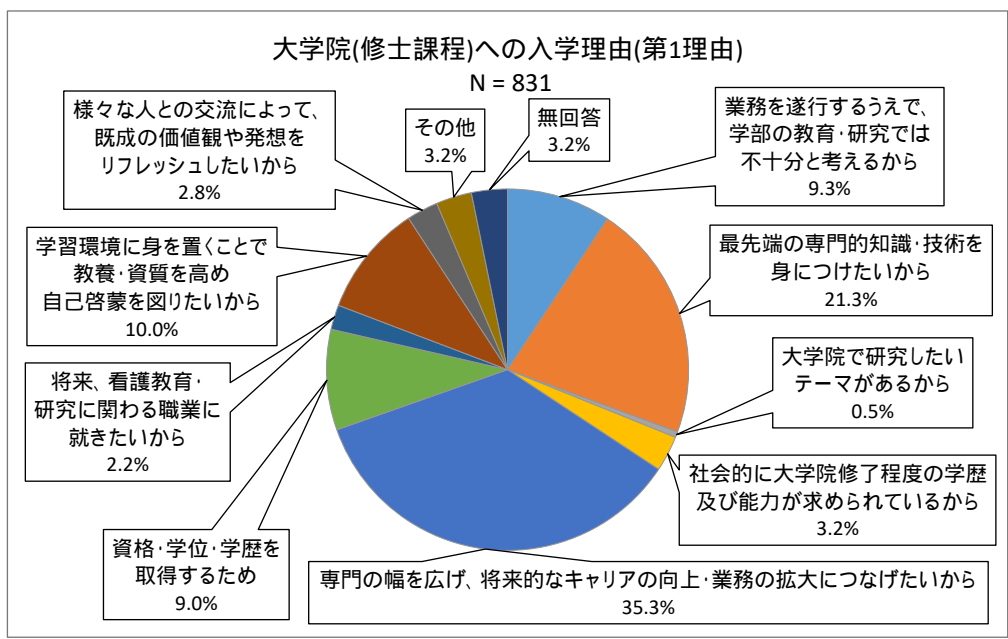
7-1 大学院(修士課程)への入学理由(第1理由)について

「(6) 大学院(修士課程)への入学意向について」にて「将来的にも大学院入学には興味がない」と回答した 865 人と「無回答」32 人を除く 831 人に、大学院(修士課程)への入学理由(第1理由)について調査した。

その結果は、「専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから」が 293 人(35.3%)と最も多く、次いで「最先端の専門的知識・技術を身につけたいから」177 人(21.3%)、「学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから」83 人(10.0%)、「業務を遂行するうえで、学部の教育・研究では不十分と考えるから」77 人(9.3%)、「資格・学位・学歴を取得するため」75 人(9.0%)、「社会的に大学院修了程度の学歴及び能力が求められているから」27 人(3.2%)、「その他」27 人(3.2%)、「様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから」23 人(2.8%)、「将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから」18 人(2.2%)、「大学院で研究したいテーマがあるから」4 人(0.5%)の順になっている。「無回答」27 人(3.2%)

大学院(修士課程)への入学理由(第1理由)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 業務を遂行するうえで、学部の教育・研究では不十分と考えるから	77	9.3
2 最先端の専門的知識・技術を身につけたいから	177	21.3
3 大学院で研究したいテーマがあるから	4	0.5
4 社会的に大学院修了程度の学歴及び能力が求められているから	27	3.2
5 専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	293	35.3
6 資格・学位・学歴を取得するため	75	9.0
7 将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから	18	2.2
8 学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから	83	10.0
9 様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから	23	2.8
10 その他	27	3.2
無回答	27	3.2
N (%^ -ス)	831	100



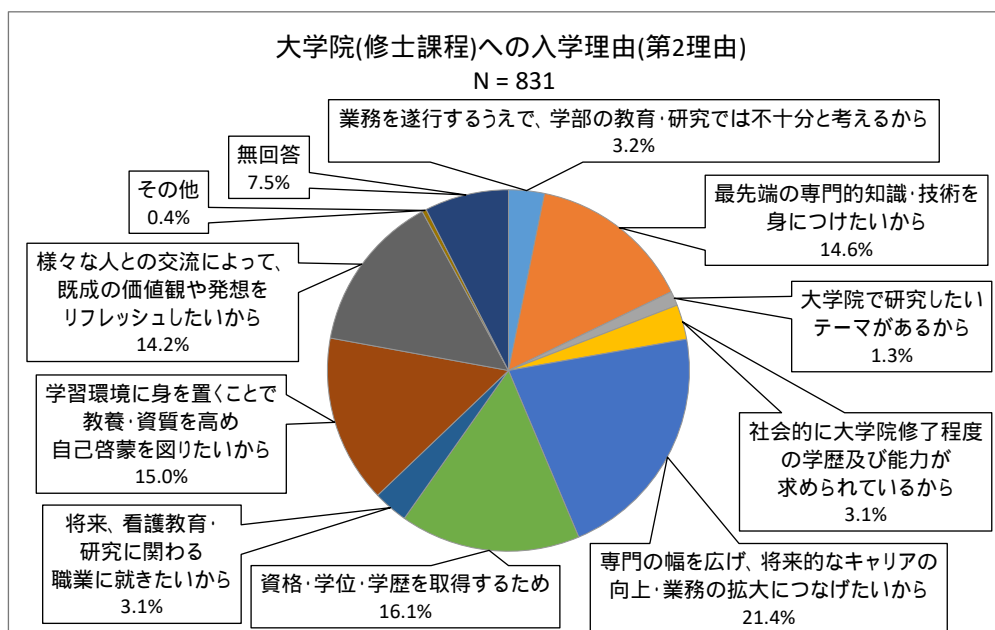
7-2 大学院（修士課程）への入学理由（第2理由）について

「(6) 大学院（修士課程）への入学意向について」にて「将来的にも大学院入学には興味がない」と回答した 865 人と「無回答」32 人を除く 831 人に、大学院（修士課程）への入学理由（第2理由）について調査した。

その結果は、「専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから」が 178 人（21.4%）と最も多く、次いで「資格・学位・学歴を取得するため」134 人（16.1%）、「学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから」125 人（15.0%）、「最先端の専門的知識・技術を身につけたいから」121 人（14.6%）、「様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから」118 人（14.2%）、「業務を遂行するうえで、学部の教育・研究では不十分と考えるから」27 人（3.2%）、「社会的に大学院修了程度の学歴及び能力が求められているから」26 人（3.1%）、「将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから」26 人（3.1%）、「大学院で研究したいテーマがあるから」11 人（1.3%）、「その他」3 人（0.4%）の順になっている。「無回答」62 人（7.5%）

大学院(修士課程)への入学理由(第2理由)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 業務を遂行するうえで、学部の教育・研究では不十分と考えるから	27	3.2
2 最先端の専門的知識・技術を身につけたいから	121	14.6
3 大学院で研究したいテーマがあるから	11	1.3
4 社会的に大学院修了程度の学歴及び能力が求められているから	26	3.1
5 専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	178	21.4
6 資格・学位・学歴を取得するため	134	16.1
7 将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから	26	3.1
8 学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから	125	15.0
9 様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから	118	14.2
10 その他	3	0.4
無回答	62	7.5
N (%ベース)	831	100



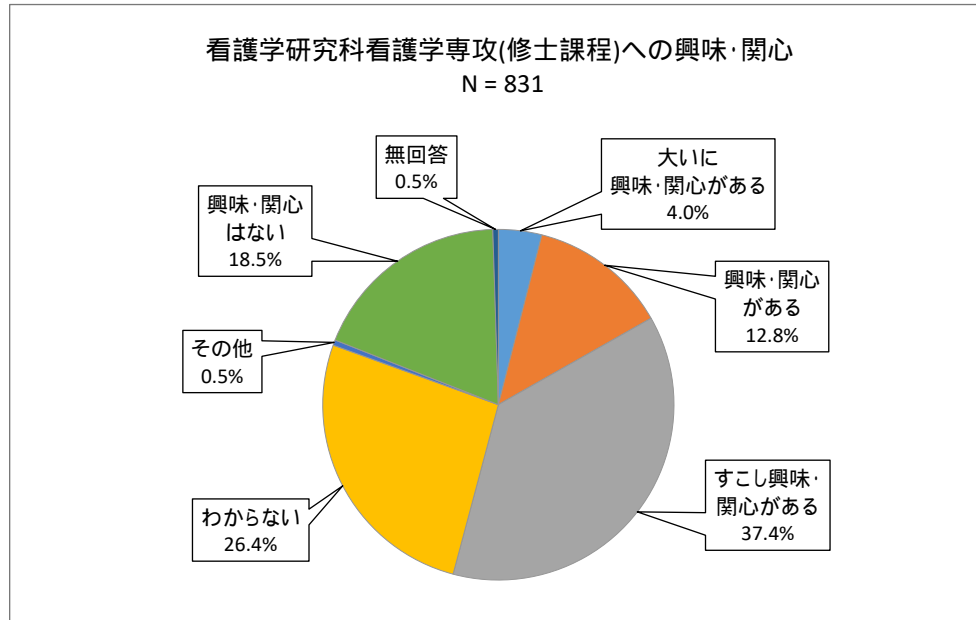
(8) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心について

「(6) 大学院(修士課程)への入学意向について」にて「将来的にも大学院入学には興味がない」と回答した 865 人と「無回答」32 人を除く 831 人に、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心について調査した。

その結果、「大いに興味・関心がある」と回答したのは 33 人(4.0%)である。また、「興味・関心がある」106 人(12.8%)、「すこし興味・関心がある」311 人(37.4%)との回答があり、「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」の合計 450 人(54.2%)が聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)に興味・関心を示している。「無回答」4 人(0.5%)

看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心

カテゴリ	件数	(全体)%
1 大いに興味・関心がある	33	4.0
2 興味・関心がある	106	12.8
3 すこし興味・関心がある	311	37.4
4 わからない	219	26.4
5 その他	4	0.5
6 興味・関心はない	154	18.5
無回答	4	0.5
N (% [^] - λ)	831	100



(9) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心の理由について

9-1 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心の理由(第1理由)について

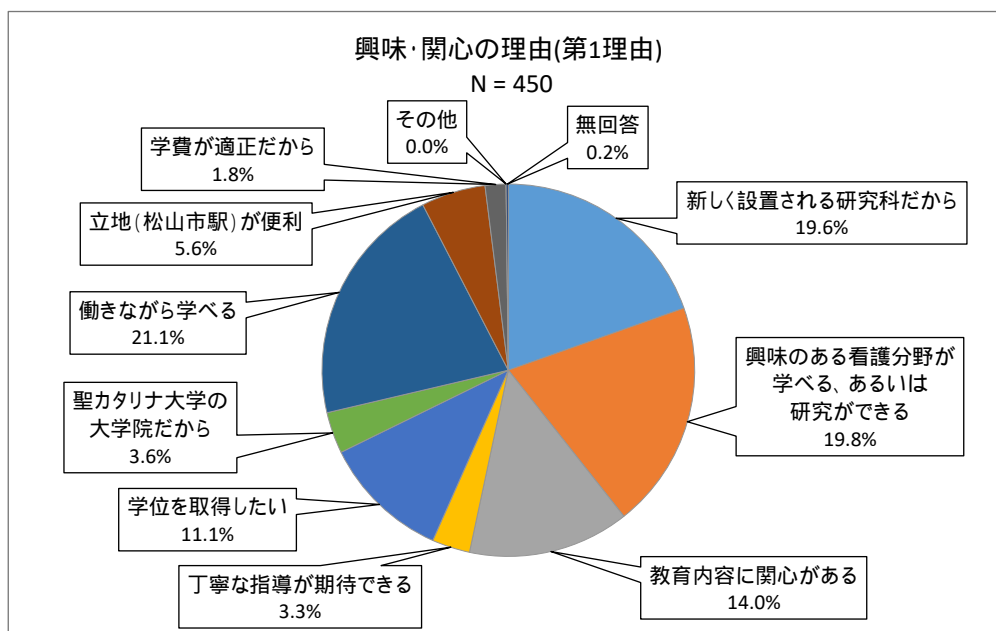
「(8) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心について」にて「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」と回答した450人に、興味・関心の理由(第1理由)について調査した。

その結果は、「働きながら学べる」が95人(21.1%)と最も多く、次いで「興味のある看護分野が学べる、あるいは研究ができる」89人(19.8%)、「新しく設置される研究科だから」88人(19.6%)、「教育内容に関心がある」63人(14.0%)、「学位を取得したい」50人(11.1%)、「立地(松山市駅)が便利」25人(5.6%)、「聖カタリナ大学の大学院だから」16人(3.6%)、「丁寧な指導が期待できる」15人(3.3%)、「学費が適正だから」8人(1.8%)の順になっている。

「無回答」1人(0.2%)

興味・関心の理由(第1理由)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 新しく設置される研究科だから	88	19.6
2 興味のある看護分野が学べる、あるいは研究ができる	89	19.8
3 教育内容に関心がある	63	14.0
4 丁寧な指導が期待できる	15	3.3
5 学位を取得したい	50	11.1
6 聖カタリナ大学の大学院だから	16	3.6
7 働きながら学べる	95	21.1
8 立地(松山市駅)が便利	25	5.6
9 学費が適正だから	8	1.8
10 その他	0	0.0
無回答	1	0.2
N (%^ -入)	450	100



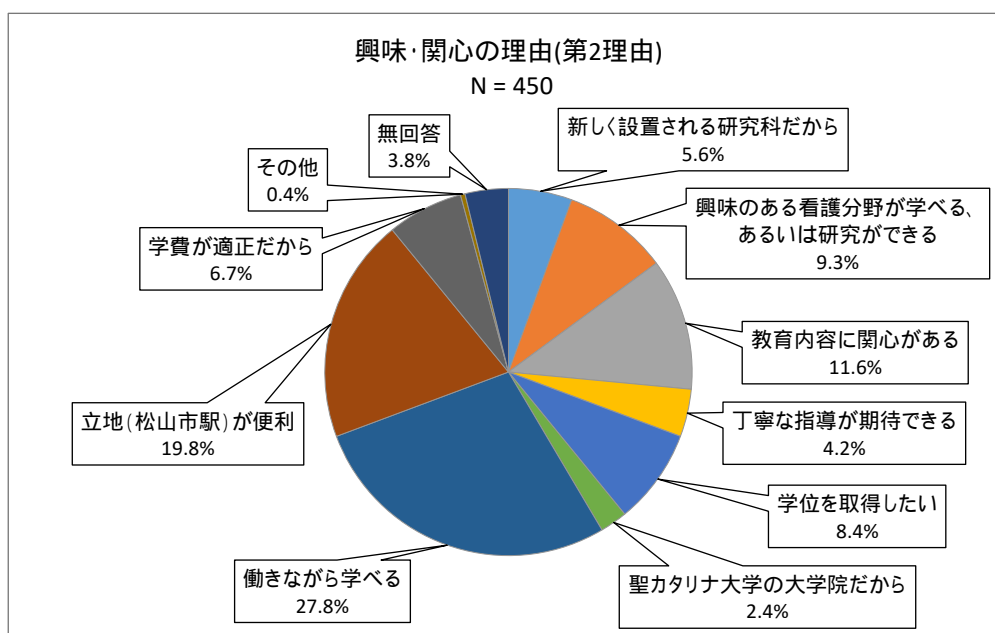
9-2 看護学研究科看護学専攻（修士課程）への興味・関心の理由（第2理由）について

「(8) 看護学研究科看護学専攻（修士課程）への興味・関心について」にて「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」と回答した450人に、興味・関心の理由（第2理由）について調査した。

その結果は、「働きながら学べる」が125人（27.8%）と最も多く、次いで「立地（松山市駅）が便利」89人（19.8%）、「教育内容に関心がある」52人（11.6%）、「興味のある看護分野が学べる、あるいは研究ができる」42人（9.3%）、「学位を取得したい」38人（8.4%）、「学費が適正だから」30人（6.7%）、「新しく設置される研究科だから」25人（5.6%）、「丁寧な指導が期待できる」19人（4.2%）、「聖カタリナ大学の大学院だから」11人（2.4%）、「その他」2人（0.4%）の順になっている。「無回答」17人（3.8%）

興味・関心の理由(第2理由)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 新しく設置される研究科だから	25	5.6
2 興味のある看護分野が学べる、あるいは研究ができる	42	9.3
3 教育内容に関心がある	52	11.6
4 丁寧な指導が期待できる	19	4.2
5 学位を取得したい	38	8.4
6 聖カタリナ大学の大学院だから	11	2.4
7 働きながら学べる	125	27.8
8 立地（松山市駅）が便利	89	19.8
9 学費が適正だから	30	6.7
10 その他	2	0.4
無回答	17	3.8
N（% [^] -入）	450	100



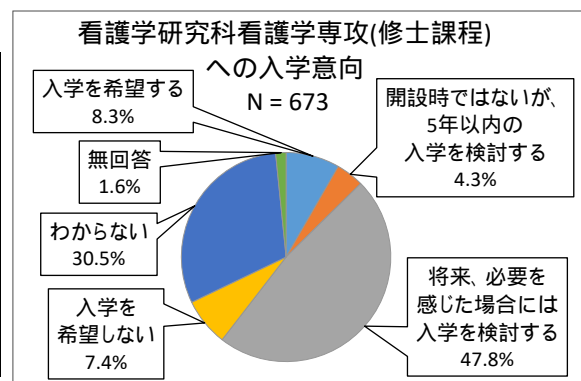
(10) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への入学意向について

「(8) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心について」にて「興味・関心はない」と回答した154人と「無回答」の4人を除いた673人に、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)への入学意向について調査した。

その結果、「入学を希望する」が56人(8.3%)、「開設時ではないが、5年以内の入学を検討する」が29人(4.3%)、「将来、必要を感じた場合には入学を検討する」が322人(47.8%)となり、合計407人(60.5%)が聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)への入学意向を示している。「無回答」11人(1.6%)

看護学研究科看護学専攻(修士課程)への入学意向

カテゴリ	件数	(全体)%
1 入学を希望する	56	8.3
2 開設時ではないが、5年以内の入学を検討する	29	4.3
3 将来、必要を感じた場合には入学を検討する	322	47.8
4 入学を希望しない	50	7.4
5 わからない	205	30.5
無回答	11	1.6
N (%^ -ス)	673	100



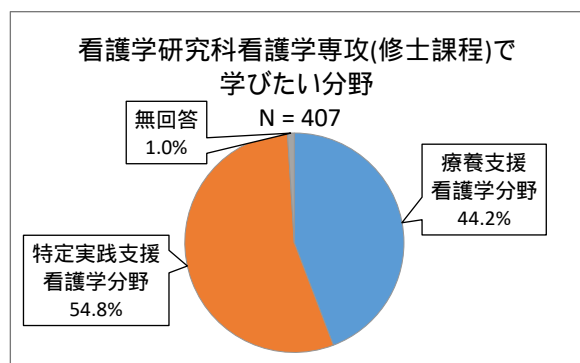
(11) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)で学びたい分野

「(10) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への入学意向について」にて入学意向を示した407人に、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)に入学した場合、学びたいと考えている分野について調査した。

その結果は、「療養支援看護学分野」が180人(44.2%)、「特定実践支援看護学分野」が223人(54.8%)となっている。「無回答」4人(1.0%)

看護学研究科看護学専攻(修士課程)で学びたい分野

カテゴリ	件数	(全体)%
1 療養支援看護学分野	180	44.2
2 特定実践支援看護学分野	223	54.8
無回答	4	1.0
N (%^ -ス)	407	100



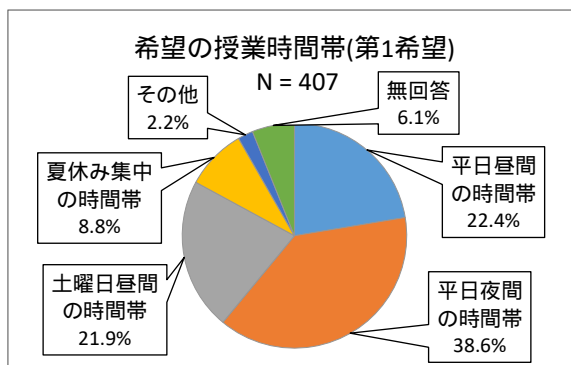
(12) 希望の授業時間帯

12-1 希望の授業時間帯 (第1希望) について

「(10) 看護学研究科看護学専攻 (修士課程) への入学意向について」にて入学意向を示した407人に、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻 (修士課程) に入学した場合、どのような時間帯に授業を履修したいか調査した。

その結果は、「平日夜間の時間帯」が157人(38.6%)と最も多く、次いで「平日昼間の時間帯」91人(22.4%)、「土曜日昼間の時間帯」89人(21.9%)、「夏休み集中の時間帯」36人(8.8%)、「その他」9人(2.2%)の順になっている。「無回答」25人(6.1%)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 平日昼間の時間帯	91	22.4
2 平日夜間の時間帯	157	38.6
3 土曜日昼間の時間帯	89	21.9
4 夏休み集中の時間帯	36	8.8
5 その他	9	2.2
無回答	25	6.1
N (% \wedge -入)	407	100

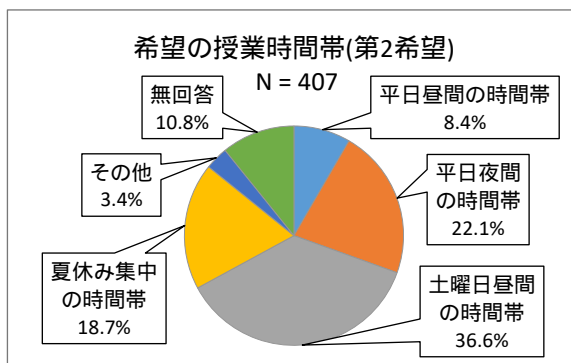


12-2 希望の授業時間帯 (第2希望) について

「(10) 看護学研究科看護学専攻 (修士課程) への入学意向について」にて入学意向を示した407人に、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻 (修士課程) に入学した場合、どのような時間帯に授業を履修したいか調査した。

その結果は、「土曜日昼間の時間帯」が149人(36.6%)と最も多く、次いで「平日夜間の時間帯」90人(22.1%)、「夏休み集中の時間帯」76人(18.7%)、「平日昼間の時間帯」34人(8.4%)、「その他」14人(3.4%)の順になっている。「無回答」44人(10.8%)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 平日昼間の時間帯	34	8.4
2 平日夜間の時間帯	90	22.1
3 土曜日昼間の時間帯	149	36.6
4 夏休み集中の時間帯	76	18.7
5 その他	14	3.4
無回答	44	10.8
N (% \wedge -入)	407	100



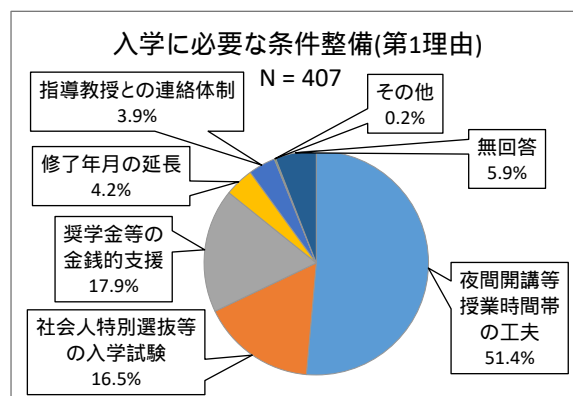
(13) 入学に必要な条件整備

13-1 入学に必要な条件整備 (第1理由) について

「(10) 看護学研究科看護学専攻 (修士課程) への入学意向について」にて入学意向を示した407人に、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻 (修士課程) に入学した場合、職に就いたままで大学院に入学する上で、どのような条件整備が必要か調査した。

その結果は、「夜間開講等授業時間帯の工夫」が209人(51.4%)と最も多く、次いで「奨学金等の金銭的支援」73人(17.9%)、「社会人特別選抜等の入学試験」67人(16.5%)、「修了年月の延長」17人(4.2%)、「指導教授との連絡体制」16人(3.9%)、「その他」1人(0.2%)の順になっている。「無回答」24人(5.9%)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 夜間開講等授業時間帯の工夫	209	51.4
2 社会人特別選抜等の入学試験	67	16.5
3 奨学金等の金銭的支援	73	17.9
4 修了年月の延長	17	4.2
5 指導教授との連絡体制	16	3.9
6 その他	1	0.2
無回答	24	5.9
N (% [^] -λ)	407	100

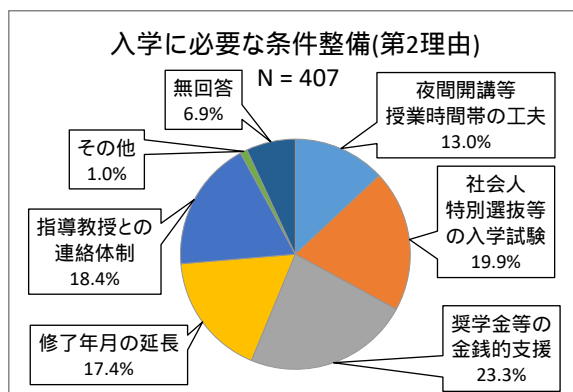


13-2 入学に必要な条件整備 (第2理由) について

「(10) 看護学研究科看護学専攻 (修士課程) への入学意向について」にて入学意向を示した407人に、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻 (修士課程) に入学した場合、職に就いたままで大学院に入学する上で、どのような条件整備が必要か調査した。

その結果は、「奨学金等の金銭的支援」が95人(23.3%)と最も多く、次いで「社会人特別選抜等の入学試験」81人(19.9%)、「指導教授との連絡体制」75人(18.4%)、「修了年月の延長」71人(17.4%)、「夜間開講等授業時間帯の工夫」53人(13.0%)、「その他」4人(1.0%)の順になっている。「無回答」28人(6.9%)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 夜間開講等授業時間帯の工夫	53	13.0
2 社会人特別選抜等の入学試験	81	19.9
3 奨学金等の金銭的支援	95	23.3
4 修了年月の延長	71	17.4
5 指導教授との連絡体制	75	18.4
6 その他	4	1.0
無回答	28	6.9
N (% [^] -λ)	407	100



3. 調査結果のまとめ

「(10) 看護学研究科看護学専攻（修士課程）への入学意向について」と、「(11) 看護学研究科看護学専攻（修士課程）で学びたい分野」の調査結果をクロス集計した結果は下表のとおりである。

入学意向 × 学びたい分野

		入学意向			
		合計	入学を希望する	開設時ではないが、5年以内の入学を検討する	将来、必要を感じた場合には入学を検討する
学びたい分野	全体	407 100.0	56 13.8	29 7.1	322 79.1
	療養支援看護学分野	180 100.0	31 17.2	9 5.0	140 77.8
	特定実践支援看護学分野	223 100.0	24 10.8	20 9.0	179 80.3
	無回答	4 100.0	1 25.0	0 -	3 75.0

「入学を希望する」と回答した者は、「療養支援看護学分野」で 31 人、「特定実践支援看護学分野」で 24 人、合計で 56 人（無回答 1 人）となり、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の入学定員 5 人に対し、11.2 倍の入学意向を示している。

「開設時ではないが、5 年以内の入学を検討する」と回答した者は、「療養支援看護学分野」が 9 人、「特定実践支援看護学分野」が 20 人、合計で 29 人となり、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の入学定員 5 人に対し、5.8 倍の入学意向を示している。

「将来、必要を感じた場合には入学を検討する」と回答した者は、「療養支援看護学分野」が 140 人、「特定実践支援看護学分野」が 179 人、合計で 322 人（無回答 3 人）となり、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の入学定員 5 人に対し、64.4 倍の入学意向を示している。

本調査においては、「1. 調査概要」で示した通り、

聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科在学生（1～4 年次生）

愛媛県内所在の病院、養成学校等医療関連施設等に勤務する看護職、看護教員を調査対象としたため、その内訳等について、下記にまとめた。

「(4) 対象者について」と、「(10) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への入学意向について」の調査結果をクロス集計した結果は下表のとおりである。

対象者×入学意向

上段:度数 下段:%	対象者										
	合計	看護師として勤務	保健師として勤務	助産師として勤務	その他の看護職・技術職として勤務	看護教員として勤務	その他	看護学科1年次生	看護学科2年次生	看護学科3年次生	看護学科4年次生
全体	673 100.0	548 81.4	1 0.1	9 1.3	1 0.1	11 1.6	-	35 5.2	15 2.2	20 3.0	33 4.9
入学を希望する	56 100.0	45 80.4	-	1 1.8	-	2 3.6	-	4 7.1	-	1 1.8	3 5.4
開設時ではないが、5年以内の入学を検討する	29 100.0	22 75.9	-	-	-	2 6.9	-	2 6.9	3 10.3	-	-
将来、必要を感じた場合には入学を検討する	322 100.0	255 79.2	-	2 0.6	1 0.3	3 0.9	-	15 4.7	9 2.8	15 4.7	22 6.8
入学を希望しない	50 100.0	45 90.0	1 2.0	1 2.0	-	1 2.0	-	1 2.0	-	-	1 2.0
わからない	205 100.0	173 84.4	-	5 2.4	-	3 1.5	-	11 5.4	3 1.5	4 2.0	6 2.9
無回答	11 100.0	8 72.7	-	-	-	-	-	2 18.2	-	-	1 9.1

「(5) 看護職実務経験年数について」と、「(10) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への入学意向について」の調査結果をクロス集計した結果は下表のとおりである。

看護職実務経験年数×入学意向

上段:度数 下段:%	看護職実務経験年数						
	合計	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	無回答
全体	570 100.0	22 3.9	29 5.1	55 9.6	97 17.0	366 64.2	1 0.2
入学を希望する	48 100.0	1 2.1	-	5 10.4	6 12.5	35 72.9	1 2.1
開設時ではないが、5年以内の入学を検討する	24 100.0	-	1 4.2	2 8.3	3 12.5	18 75.0	-
将来、必要を感じた場合には入学を検討する	261 100.0	12 4.6	15 5.7	25 9.6	53 20.3	156 59.8	-
入学を希望しない	48 100.0	1 2.1	1 2.1	7 14.6	5 10.4	34 70.8	-
わからない	181 100.0	8 4.4	12 6.6	15 8.3	30 16.6	116 64.1	-
無回答	8 100.0	-	-	1 12.5	-	7 87.5	-

「(8) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心について」と、「(10) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への入学意向について」の調査結果をクロス集計した結果は下表のとおりである。

看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心 × 入学意向

上段:度数 下段:%		看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心					
		合計	大いに興味・ 関心がある	興味・関心が ある	すこし興味・ 関心がある	わからない	その他
入学意向	全体	673 100.0	33 4.9	106 15.8	311 46.2	219 32.5	4 0.6
	入学を希望する	56 100.0	9 16.1	22 39.3	20 35.7	5 8.9	-
	開設時ではないが、5年以内の入学を検討する	29 100.0	5 17.2	12 41.4	10 34.5	2 6.9	-
	将来、必要を感じた場合には入学を検討する	322 100.0	11 3.4	49 15.2	180 55.9	82 25.5	-
	入学を希望しない	50 100.0	1 2.0	4 8.0	20 40.0	24 48.0	1 2.0
	わからない	205 100.0	7 3.4	16 7.8	76 37.1	104 50.7	2 1.0
	無回答	11 100.0	-	3 27.3	5 45.5	2 18.2	1 9.1

以上の調査結果と、調査対象以外からの進学も考えられることから、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものとする。

調查票

ここからは、聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）の概要リーフレットを
ご覧いただいた上でご回答ください。

[聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）への入学について]

問8 あなたは聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）について
どのようにお考えですか。次の中から 1つお選びください。

- | | | | |
|---------------|---|---|--------------------------|
| 1 大いに興味・関心がある | 5 その他（具体的に |) | <input type="checkbox"/> |
| 2 興味・関心がある | 6 興味・関心はない | | |
| 3 すこし興味・関心がある | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 1、2、3 を選ばれた方は問9へお進みください。
 4、5 を選ばれた方は問10へお進みください。
 6 を選ばれた方は問14へお進みください。 </div> | | |
| 4 わからない | | | |

問9 問8で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」と
回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。
次の中から第2理由までお選びください。

- | | | |
|----------------------------|-------|--------------------------|
| 1 新しく設置される研究科だから | 第1理由 | <input type="checkbox"/> |
| 2 興味のある看護分野が学べる、あるいは研究ができる | 第2理由 | <input type="checkbox"/> |
| 3 教育内容に関心がある | | |
| 4 丁寧な指導が期待できる | | |
| 5 学位を取得したい | | |
| 6 聖カタリナ大学の大学院だから | | |
| 7 働きながら学べる | | |
| 8 立地（松山市駅）が便利 | | |
| 9 学費が適正だから | | |
| 10 その他 | | |
| | （具体的に | |
| |) | |

問10 今後、聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）を受験し、
合格された場合に入学を希望しますか。次の中から 1つお選びください。

- | | | |
|----------------------------|---|--------------------------|
| 1 入学を希望する | 4 入学を希望しない | <input type="checkbox"/> |
| 2 開設時ではないが、5年以内の入学を検討する | 5 わからない | |
| 3 将来、必要を感じた場合には
入学を検討する | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 1、2、3 を選ばれた方は問11へお進みください。
 4、5 を選ばれた方は問14へお進みください。 </div> | |

問11 あなたが将来聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）に入学し
た場合、学びたいと考えている分野はどちらですか。次の中から 1つお選びください。

- | | | |
|-------------|---------------|--------------------------|
| 1 療養支援看護学分野 | 2 特定実践支援看護学分野 | <input type="checkbox"/> |
|-------------|---------------|--------------------------|

問12 問10で「入学を希望する」「開設時ではないが、5年以内の入学を検討する」「将来、必要を
感じた場合には入学を検討する」と回答された方におたずねします。どのような時間帯に授業
を履修したいとお考えですか。次の中から第2希望までお選びください。

- | | | | |
|-------------|-------------|------|--------------------------|
| 1 平日昼間の時間帯 | 4 夏休み集中の時間帯 | 第1希望 | <input type="checkbox"/> |
| 2 平日夜間の時間帯 | 5 その他 | 第2希望 | <input type="checkbox"/> |
| 3 土曜日昼間の時間帯 | （具体的に | | |
| |) | | |

問13 問10で「入学を希望する」「開設時ではないが、5年以内の入学を検討する」「将来、必要を感
じた場合には入学を検討する」と回答された方におたずねします。職に就いたままで大学院に入
学する上で、どのような条件整備が必要とお考えですか。

- 次の中から第2理由までお選びください。
- | | | | |
|------------------|--------------|------|--------------------------|
| 1 夜間開講等授業時間帯の工夫 | 5 指導教授との連絡体制 | 第1理由 | <input type="checkbox"/> |
| 2 社会人 特別選抜等の入学試験 | 6 その他 | 第2理由 | <input type="checkbox"/> |
| 3 奨学金等の金銭的支援 | （具体的に | | |
| 4 修了年月の延長 |) | | |

問14 聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）の設置計画に、
ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

◆ご協力いただき、ありがとうございました◆

計画概要

※内容は構想中のものであり、変更になる場合があります。

聖カタリナ大学大学院<設置構想中> 看護学研究科看護学専攻 (仮称) 2022年(令和4年)4月設置予定 修士課程

設置構想中

学 位	修士(看護学)
入学定員	5名(予定)男女共学
修業年限	2年(最長4年まで)
入学時期	4月
設置場所	聖カタリナ大学松山市駅キャンパス内

教育目的

看護学研究科看護学専攻(仮称)は、療養支援看護学分野及び特定実践支援看護学分野の研究教育を通して、多職種との連携・協働の視点を踏まえ、保健・医療・福祉を繋ぐキーパーソンとして地域包括ケアシステムの構築に寄与できる高度専門職業人を養成することを目的とします。

出願資格

- 次の(1)~(7)のいずれかに該当する者。
- (1) 大学を卒業した者(卒業見込みの者を含む)。
 - (2) 学校教育法により学士の学位を授与された者。
 - (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者。
 - (4) 文部科学大臣の指定した者。
 - (5) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
 - (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
 - (7) その他、本大学院において大学を卒業した者と同等の学力があると認められた者。
- 出願資格については事前に個別にご相談ください。

修了要件

2年以上在学し、修了所要単位数30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該修士課程の目的に応じた修士論文の成果の審査及び最終試験に合格すること。

想定される卒業後の進路

- (1) 高度な専門知識をもつ人材として、保健医療福祉の施設等に勤務
- (2) 教育者・研究者として看護系大学や研究機関に勤務
- (3) 大学院(博士後期課程)への進学など

社会人学生に対する配慮

看護職者の資質向上に貢献する目的で、社会人の受け入れを行います。
勤務しながら通学できるよう、大学院設置基準の第14条特例に基づく昼夜開講や、修業年限を4年に延長する長期履修学生制度を設け、在職のまま学びやすくなるよう配慮します。

- 土曜 ① 8:50~10:20 ② 10:30~12:00 ③ 13:00~14:30 ④ 14:40~16:10
平日 ⑤ 18:00~19:30 ⑥ 19:40~21:10
(全てがこの時間の開講ではありません)

裏面もご覧ください。



学校法人 聖カタリナ学園
聖カタリナ大学
聖カタリナ大学短期大学部

<お問い合わせ先>
聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス事務局
TEL: 089-947-0502
〒790-0022 愛媛県松山市永代町10番地1

設置構想中

※内容は構想中のものであり、変更になる場合があります。

養成する人材像

本学大学院では、保健医療福祉領域における連携・協働を推進し、高度な看護実践能力を備えた人材を養成します。

- (1) 地域包括ケアの推進と構築を支えるための臨床判断力を備えた人を養成します。
- (2) 地域の人々のニーズに応じて健康に関する諸現象を分析し、構造化する力、マネジメントする力を備えた人を養成します。
- (3) 多職種との連携を牽引し、地域の人々とともに歩む人を養成します。

専攻の教育分野

本学大学院では、以下の分野についての教育を行います。

療養支援看護学分野

地域包括ケアシステムの中で多職種・多機関と連携を図りながら、臨床と在宅をつなぎ、認知症・要介護高齢者・難病療養者の長期療養支援、フレイル予防やエンド・オブ・ライフケアなどに求められている療養支援における看護実践上の課題を見出し、継続的で質の高い看護を構築することを目指します。

特定実践支援看護学分野

成育看護学、成人看護学、地域・公衆衛生看護学のそれぞれの専門性を各領域の実践的な視点から深めることにより、患者や家族、地域住民の健康を支える専門知識と技術を高め、臨床現場における問題に対してより質の高い看護を構築することを目指します。

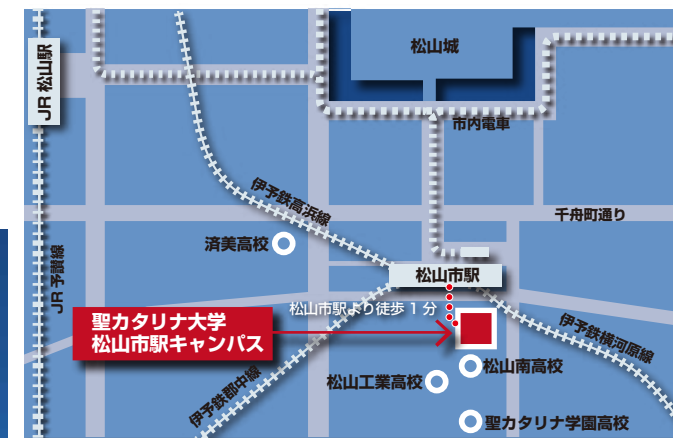
類似の近隣の大学院

大学院名	入学定員	入学金	授業料（年額）	1年次合計
愛媛大学大学院 医学系研究科看護学専攻	12名	¥282,000	¥535,800	¥817,800
愛媛県立医療技術大学大学院 保健医療学研究科看護学専攻	5名	¥282,000（県内） ¥423,000（県外）	¥535,800	¥817,800 ¥958,800
聖カタリナ大学大学院（設置構想中） 看護学研究科看護学専攻（仮称）	5名	¥200,000（※1）	¥500,000	¥700,000

※1：本学と連携協力に関する協定書を交わしている施設および本学看護学科の実習施設の職員、看護師養成学校の教員及び本学卒業生（卒業見込みを含む）は、入学金免除。

※2：各大学院の情報は、ホームページから転載。

聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス



聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス

※松山市駅南口から徒歩1分

〒790-0022

愛媛県松山市永代町10番地1

TEL: 089-947-0502

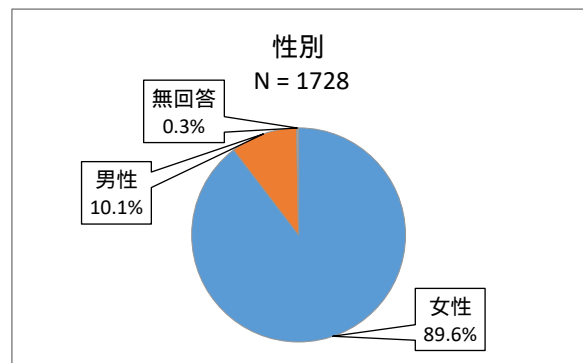
FAX: 089-947-0505

URL: <https://www.catherine.ac.jp>

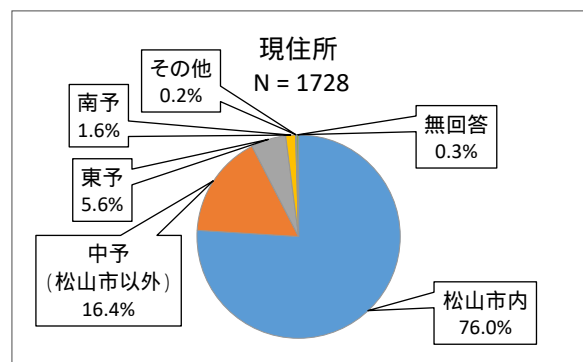


単純集計表

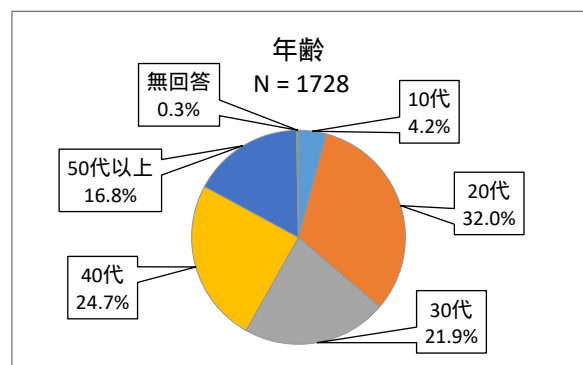
性別		
カテゴリ	件数	(全体)%
1 女性	1,549	89.6
2 男性	174	10.1
無回答	5	0.3
N (%^ -λ)	1,728	100



現住所		
カテゴリ	件数	(全体)%
1 松山市内	1,313	76.0
2 中予 (松山市以外)	284	16.4
3 東予	96	5.6
4 南予	27	1.6
5 その他	3	0.2
無回答	5	0.3
N (%^ -λ)	1,728	100

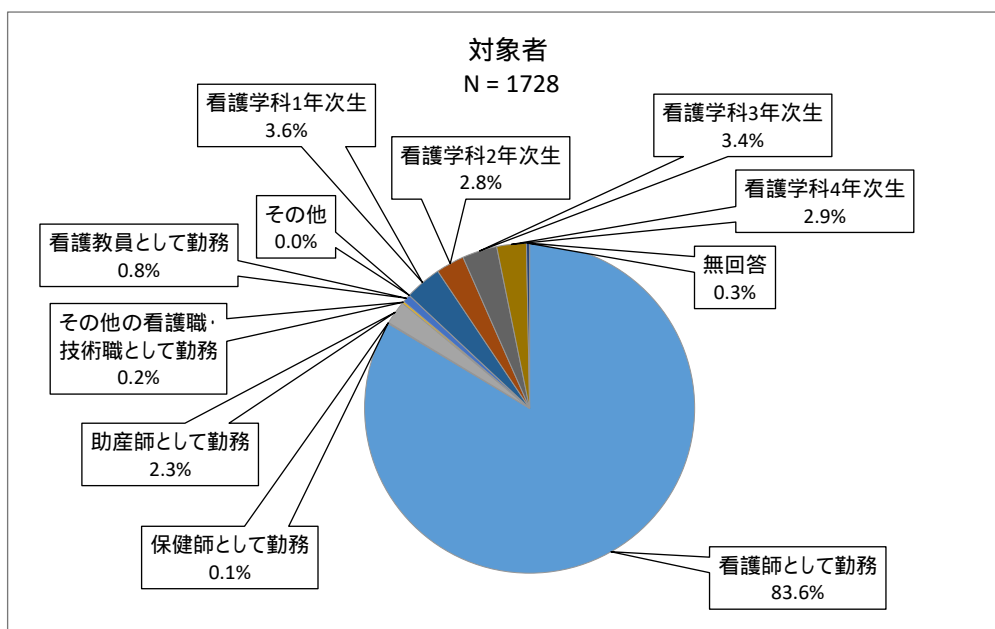


年齢		
カテゴリ	件数	(全体)%
1 10代	73	4.2
2 20代	553	32.0
3 30代	379	21.9
4 40代	427	24.7
5 50代以上	291	16.8
無回答	5	0.3
N (%^ -λ)	1,728	100



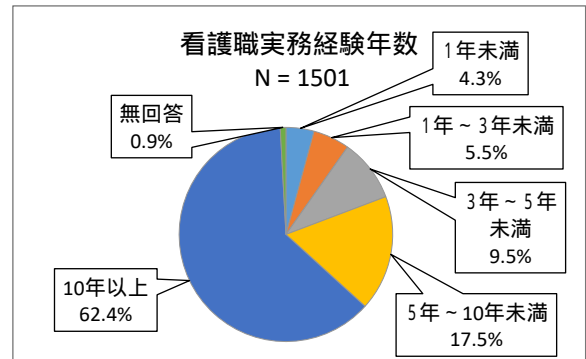
対象者

	カテゴリ	件数	(全体)%
1	看護師として勤務	1,444	83.6
2	保健師として勤務	1	0.1
3	助産師として勤務	39	2.3
4	その他の看護職・技術職として勤務	4	0.2
5	看護教員として勤務	13	0.8
6	その他	0	0.0
7	看護学科1年次生	63	3.6
8	看護学科2年次生	49	2.8
9	看護学科3年次生	59	3.4
10	看護学科4年次生	50	2.9
	無回答	6	0.3
	N (%^'-入)	1,728	100



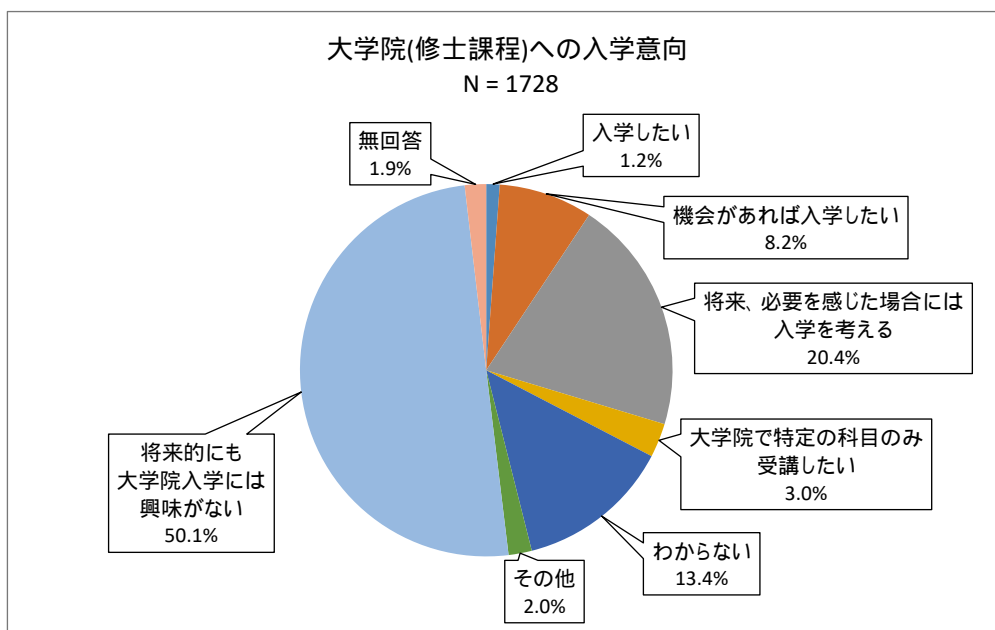
看護職実務経験年数

カテゴリ	件数	(全体)%
1 1年未満	64	4.3
2 1年～3年未満	83	5.5
3 3年～5年未満	142	9.5
4 5年～10年未満	262	17.5
5 10年以上	937	62.4
無回答	13	0.9
N (%^ -入)	1,501	100



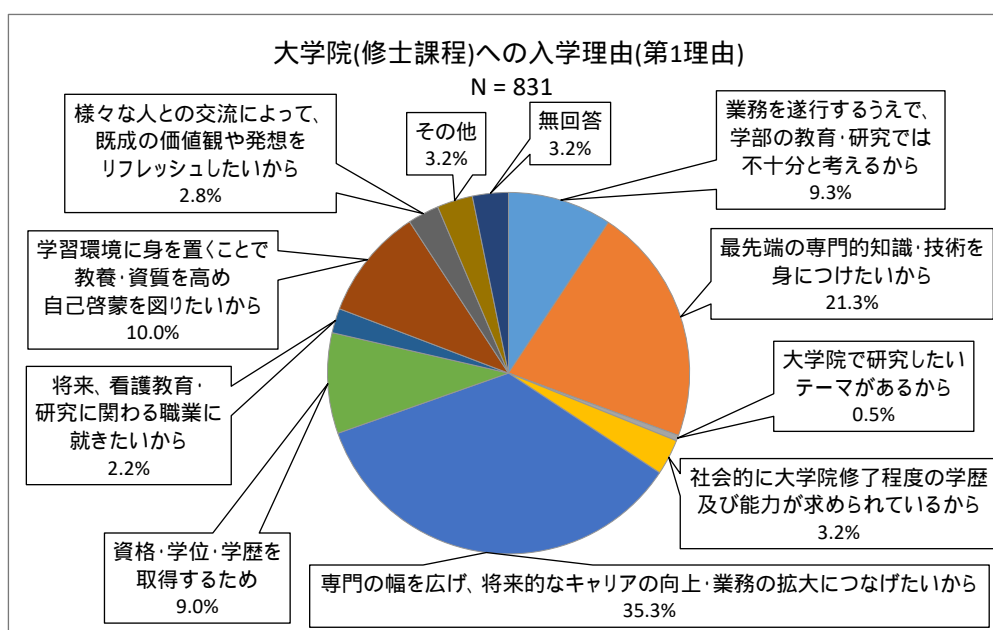
大学院(修士課程)への入学意向

カテゴリ	件数	(全体)%
1 入学したい	20	1.2
2 機会があれば入学したい	141	8.2
3 将来、必要を感じた場合には入学を考える	352	20.4
4 大学院で特定の科目のみ受講したい	51	3.0
5 わからない	232	13.4
6 その他	35	2.0
7 将来的にも大学院入学には興味がない	865	50.1
無回答	32	1.9
N (%^ -入)	1,728	100



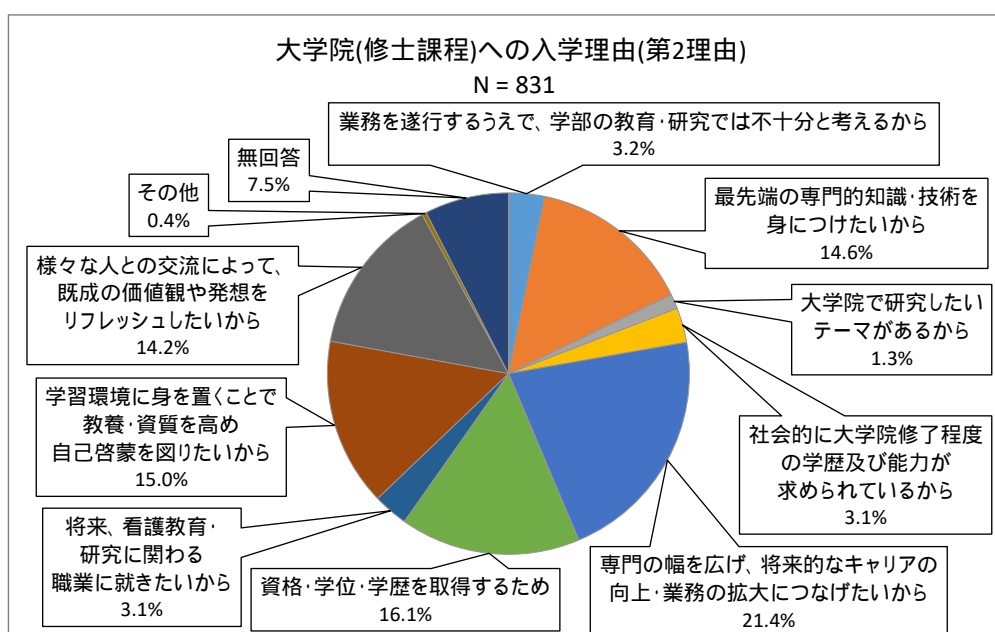
大学院(修士課程)への入学理由(第1理由)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 業務を遂行するうえで、学部の教育・研究では不十分と考えるから	77	9.3
2 最先端の専門的知識・技術を身につけたいから	177	21.3
3 大学院で研究したいテーマがあるから	4	0.5
4 社会的に大学院修了程度の学歴及び能力が求められているから	27	3.2
5 専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	293	35.3
6 資格・学位・学歴を取得するため	75	9.0
7 将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから	18	2.2
8 学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから	83	10.0
9 様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから	23	2.8
10 その他	27	3.2
無回答	27	3.2
N (% [^] - [^])	831	100



大学院(修士課程)への入学理由(第2理由)

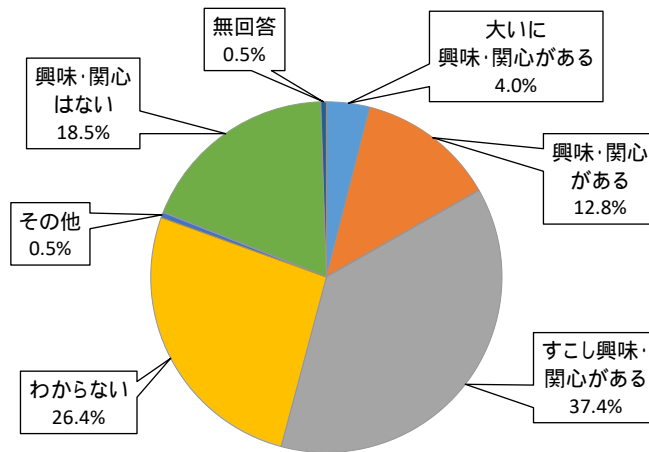
カテゴリ	件数	(全体)%
1 業務を遂行するうえで、学部の教育・研究では不十分と考えるから	27	3.2
2 最先端の専門的知識・技術を身につけたいから	121	14.6
3 大学院で研究したいテーマがあるから	11	1.3
4 社会的に大学院修了程度の学歴及び能力が求められているから	26	3.1
5 専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	178	21.4
6 資格・学位・学歴を取得するため	134	16.1
7 将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから	26	3.1
8 学習環境に身を置くことで教養・資質を高め自己啓蒙を図りたいから	125	15.0
9 様々な人との交流によって、既成の価値観や発想をリフレッシュしたいから	118	14.2
10 その他	3	0.4
無回答	62	7.5
N (% [*] - \bar{x})	831	100



看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心

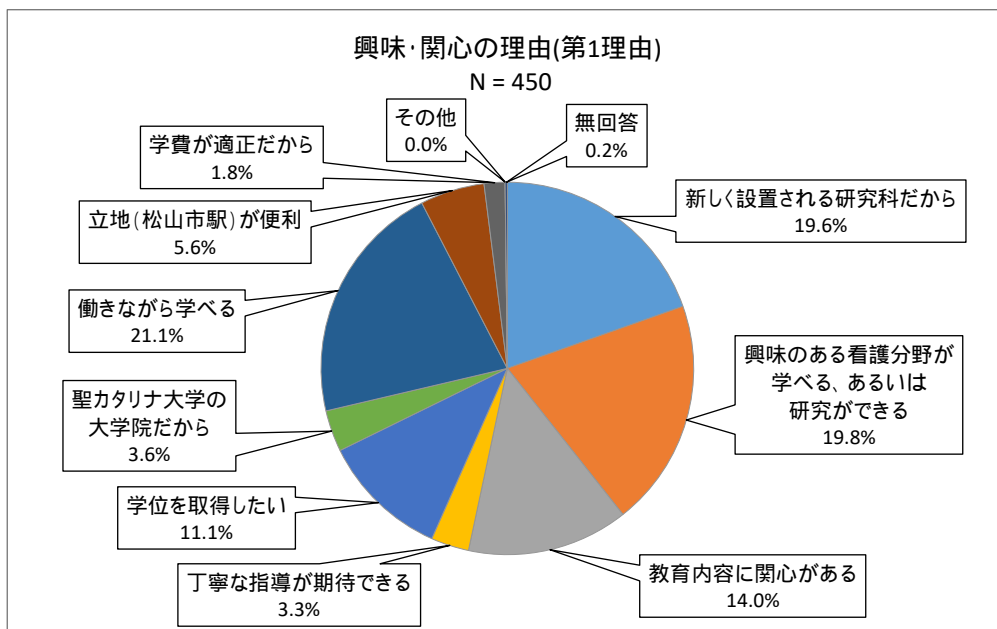
	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	33	4.0
2	興味・関心がある	106	12.8
3	すこし興味・関心がある	311	37.4
4	わからない	219	26.4
5	その他	4	0.5
6	興味・関心はない	154	18.5
	無回答	4	0.5
	N (% ¹ - ²)	831	100

看護学研究科看護学専攻(修士課程)への興味・関心
N = 831



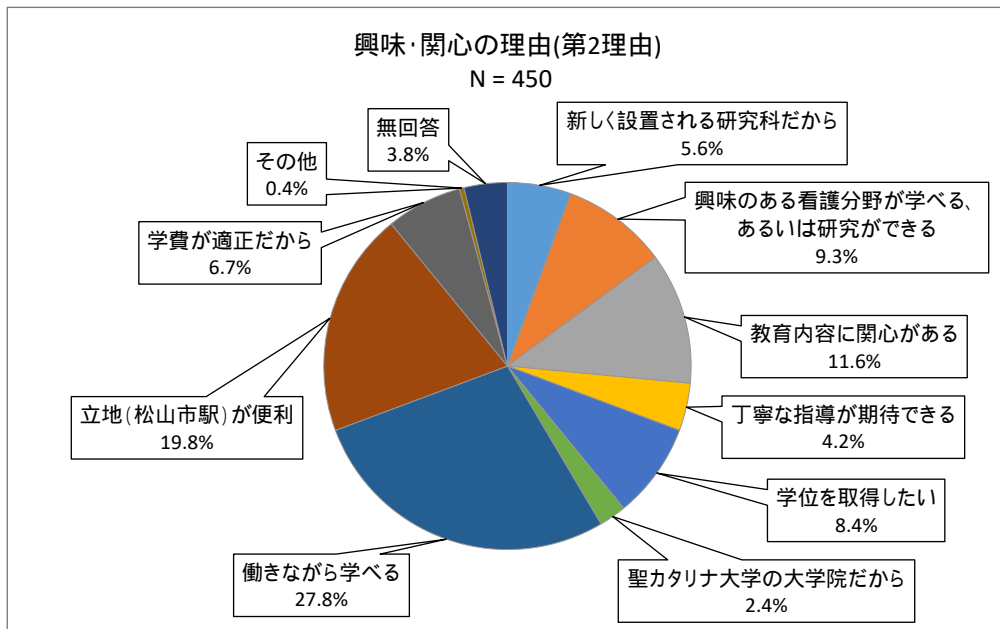
興味・関心の理由(第1理由)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 新しく設置される研究科だから	88	19.6
2 興味のある看護分野が学べる、あるいは研究ができる	89	19.8
3 教育内容に関心がある	63	14.0
4 丁寧な指導が期待できる	15	3.3
5 学位を取得したい	50	11.1
6 聖カタリナ大学の大学院だから	16	3.6
7 働きながら学べる	95	21.1
8 立地(松山市駅)が便利	25	5.6
9 学費が適正だから	8	1.8
10 その他	0	0.0
無回答	1	0.2
N (%への入)	450	100



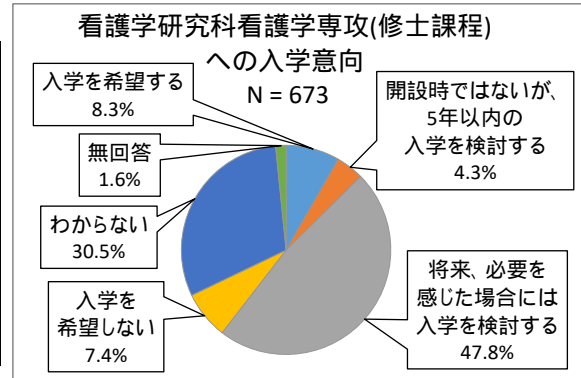
興味・関心の理由(第2理由)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 新しく設置される研究科だから	25	5.6
2 興味のある看護分野が学べる、あるいは研究ができる	42	9.3
3 教育内容に関心がある	52	11.6
4 丁寧な指導が期待できる	19	4.2
5 学位を取得したい	38	8.4
6 聖カタリナ大学の大学院だから	11	2.4
7 働きながら学べる	125	27.8
8 立地(松山市駅)が便利	89	19.8
9 学費が適正だから	30	6.7
10 その他	2	0.4
無回答	17	3.8
N (%への入)	450	100



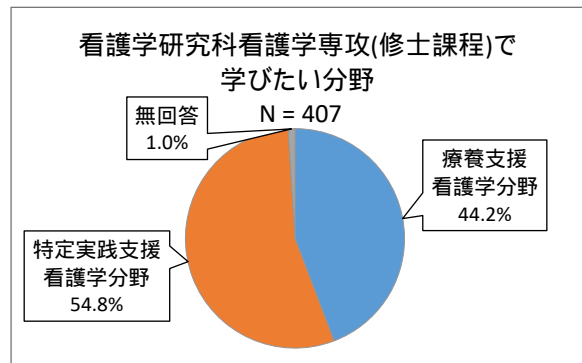
看護学研究科看護学専攻(修士課程)への入学意向

カテゴリ	件数	(全体)%
1 入学を希望する	56	8.3
2 開設時ではないが、5年以内の入学を検討する	29	4.3
3 将来、必要を感じた場合には入学を検討する	322	47.8
4 入学を希望しない	50	7.4
5 わからない	205	30.5
無回答	11	1.6
N (% [^] -λ)	673	100



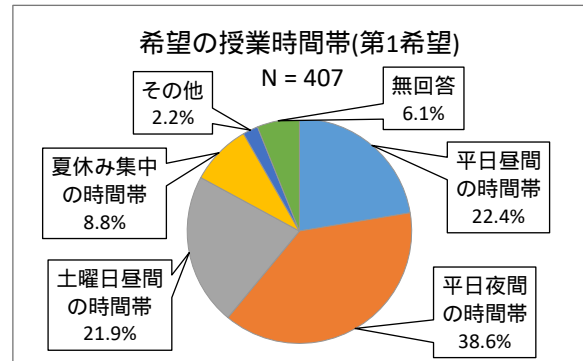
看護学研究科看護学専攻(修士課程)で学びたい分野

カテゴリ	件数	(全体)%
1 療養支援看護学分野	180	44.2
2 特定実践支援看護学分野	223	54.8
無回答	4	1.0
N (% [^] -λ)	407	100



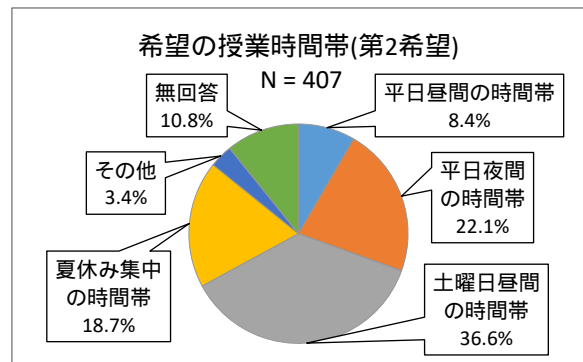
希望の授業時間帯(第1希望)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 平日昼間の時間帯	91	22.4
2 平日夜間の時間帯	157	38.6
3 土曜日昼間の時間帯	89	21.9
4 夏休み集中の時間帯	36	8.8
5 その他	9	2.2
無回答	25	6.1
N (% [^] -入)	407	100



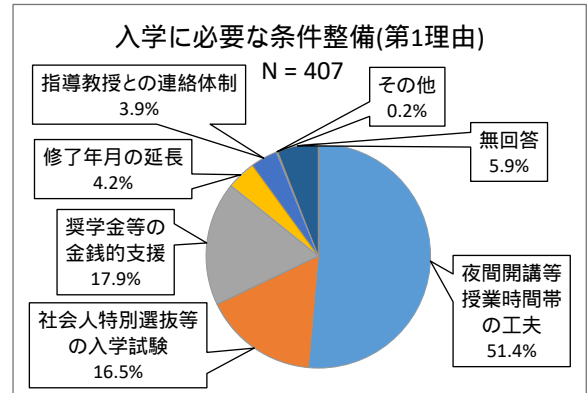
希望の授業時間帯(第2希望)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 平日昼間の時間帯	34	8.4
2 平日夜間の時間帯	90	22.1
3 土曜日昼間の時間帯	149	36.6
4 夏休み集中の時間帯	76	18.7
5 その他	14	3.4
無回答	44	10.8
N (% [^] -入)	407	100



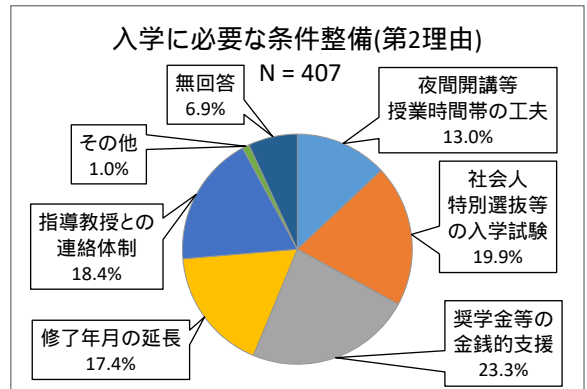
入学に必要な条件整備(第1理由)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 夜間開講等授業時間帯の工夫	209	51.4
2 社会人特別選抜等の入学試験	67	16.5
3 奨学金等の金銭的支援	73	17.9
4 修了年月の延長	17	4.2
5 指導教授との連絡体制	16	3.9
6 その他	1	0.2
無回答	24	5.9
N (% [^] - λ)	407	100



入学に必要な条件整備(第2理由)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 夜間開講等授業時間帯の工夫	53	13.0
2 社会人特別選抜等の入学試験	81	19.9
3 奨学金等の金銭的支援	95	23.3
4 修了年月の延長	71	17.4
5 指導教授との連絡体制	75	18.4
6 その他	4	1.0
無回答	28	6.9
N (% [^] - λ)	407	100



聖カタリナ大学人間健康福祉学部4学科の入学者の状況

	項目	令和2年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平均入学 定員超過率
聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 (合計)	入学定員超過率	(0.95)	(0.83)	(0.90)	(0.95)	(0.90)
	入学者数	239	218	234	249	
	入学定員	250	260	260	260	
社会福祉学科	入学定員超過率	(0.51)	(0.60)	(0.64)	(0.84)	(0.64)
	入学者数	31	42	45	59	
	入学定員	60	70	70	70	
人間社会学科	入学定員超過率	(1.32)	(1.22)	(1.16)	(1.24)	(1.23)
	入学者数	66	61	58	62	
	入学定員	50	50	50	50	
健康スポーツ学科	入学定員超過率	(1.18)	(1.03)	(1.00)	(1.06)	(1.06)
	入学者数	71	62	60	64	
	入学定員	60	60	60	60	
看護学科	入学定員超過率	(0.88)	(0.66)	(0.88)	(0.80)	(0.80)
	入学者数	71	53	71	64	
	入学定員	80	80	80	80	

第7次愛媛県地域保健医療計画 目次

第1章 計画の基本的事項

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の性格	1
3	計画の期間	2
4	計画の基本理念	2
5	計画推進の体制と役割	6
6	目標の達成状況等の分析、評価及び公表	8

第2章 保健医療の現状

1	人口等の状況	9
2	入院患者の状況	20
3	医療施設の状況	26

第3章 保健医療圏の設定と病床の整備

1	保健医療圏の設定	29
	(1) 一次保健医療圏	29
	(2) 二次保健医療圏	29
	(3) 三次保健医療圏	31
2	基準病床数の算定	31
3	診療所の療養病床・一般病床	36

第4章 医療提供体制の現状、目標及び整備方針

1	基本的考え方	37
	(1) 医療連携体制の構築	37
	(2) プライマリ・ケア	38
	(3) 地域医療支援病院の整備の目標	40
2	5疾病5事業及び在宅医療に係る医療連携体制の現状と課題、目標及び整備方針	44
	(1) がん	44
	(2) 脳卒中	68
	(3) 心筋梗塞等の心血管疾患	99
	(4) 糖尿病	128
	(5) 精神疾患	151
	(6) 救急医療	173
	(7) 災害医療及び原子力災害医療	187
	(8) へき地医療	208
	(9) 周産期医療	224

(10) 小児医療	240
(11) 在宅医療	271
(12) 5 疾病 5 事業及び在宅医療に係る計画の評価等	290
3 公的医療機関等及び独法医療機関並びに社会医療法人の役割	291
4 医療に関する情報の提供の推進	293
(1) 医療機能に関する情報の提供（病病・病診連携含む）	294
(2) 診療に関する情報の提供	294
5 薬局の役割	295
6 訪問看護ステーションの役割	297
7 医療の安全の確保	298
8 その他必要な対策	301
(1) 結核・感染症対策	301
(2) 臓器等移植対策	304
(3) 難病等対策	305
(4) アレルギー疾患対策	309
(5) 今後高齢化に伴い増加する疾患等対策	310
(6) 歯科口腔保健医療対策	311
(7) リハビリテーション	312
(8) 血液確保対策	315
(9) 血液製剤の適正使用	315
(10) 医療に関する情報化	316

第5章 保健医療従事者の確保

1 医師	318
2 歯科医師	324
3 薬剤師	325
4 <u>看護職員</u>	327
5 栄養士及び管理栄養士	329
6 その他の保健医療従事者	329

第6章 保健・医療・介護・福祉の総合的な取組み

1 保健・医療・介護・福祉の連携	331
2 健康づくりの推進	332
3 母子保健福祉対策	334
4 高齢者保健福祉対策	335
5 障がい者保健福祉対策	336

第7章 地域医療構想

1 基本的事項	338
2 構想区域の設定と必要病床数等	338

4 看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）

(1) 現状と課題

- ・看護職員の確保及び質の向上については、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」及び同法に基づく「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」を基盤として、質の高い看護職員を養成する「人材の養成」、新人看護職員の質の向上と離職防止を図る「職場定着」、離職後の再就業を勧める「復職支援」の3つの支援を実施しています。
- ・養成状況は、平成29年4月現在、県内の保健師、助産師、看護師及び准看護師学校養成所は、16校21課程あり、1学年定員は940人です。

平成29年度看護師等養成所一覧			
学校養成所名	課程	定員	所在地
国立大学法人愛媛大学医学部看護学科	保・看	60	東温市
愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科	保・看	75	砥部町
愛媛県立医療技術大学助産学専攻科	助	15	
聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科	保・看	80	松山市
人間環境大学松山看護学部看護学科	保・看	80	松山市
大学計		310	
松山赤十字看護専門学校（H28～募集停止）	3全	-	松山市
十全看護専門学校	3全	30	新居浜市
宇和島看護専門学校	3全	40	宇和島市
四国中央医療福祉総合学院	3全	40	四国中央市
独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター附属看護学校	3全	40	東温市
今治看護専門学校第一看護学科	3全	80	今治市
松山看護専門学校第一看護学科	3全	40	松山市
河原医療大学校	3全	40	松山市
東城看護専門学校	3全	40	新居浜市
看護師養成所3年課程計		350	
今治看護専門学校第二看護学科	2全	40	今治市
松山看護専門学校第二看護学科	2定(昼)	40	松山市
看護師養成所2年課程計		80	
聖カタリナ学園高等学校看護科	5年一貫	40	松山市
松山城南高等学校看護科	5年一貫	40	松山市
帝京第五高等学校看護科	5年一貫	40	大洲市
5年一貫校計		120	
松山看護専門学校医療高等課程准看護師科	准2	40	松山市
今治看護専門学校高等課程准看護師科	准2	40	今治市
准看護師学校養成所計		80	
合計		940	

- ・就業保健師については、平成28年末現在682人、人口10万人当たり49.6人で、全国平均40.4人を9.2人上回っていますが、高齢化の進展、疾病構造の変化等に伴い、在宅医療や地域ケアへの需要が高まっているほか、大規模災害や感染症等の健康危機管理、新たな健康課題への対応における役割が増大しており、保健師の需要の伸びが予想されます。
- ・就業助産師については、平成28年末現在、323人、人口10万人当たり23.5人で、全国平均28.2人を下回っています。産科医の不足が続く中、正常分娩の助産が法律で許可されている助産師の活用が求められていることから、需要の伸びが予想されます。
- ・就業看護師については、平成28年末現在、16,151人、人口10万人当たり1,175.8人で、全

国平均 905.5 人を上回っています。しかし、圏域別では「人口 10 万対換算数の県計 1,657 人（平成 28 年）」を 100 とすると、松山圏域は 103.8 と最も高く、次いで宇和島圏域 102.0、八幡浜・大洲圏域 101.2 と 100 を超えている一方、宇摩圏域 81.3、新居浜・西条圏域 96.5、今治圏域 97.8 と、地域により偏在がみられることから、更なる看護師の確保が必要です。

- ・就業准看護師については、平成 28 年末現在、5,599 人、人口 10 万人当たり 407.6 人で、全国平均 254.6 人を上回っています。また、就業看護職員に占める准看護師の割合は 24.6%で、全国平均の 20.7%より高い状況にあります。看護課程への進学や准看護師養成課程の減少に伴い、10 年間で 1,149 人減少しています。
- ・医療の高度・専門化、高齢化の進展や疾病構造の変化、県民ニーズの多様化等を踏まえ、今後在宅ケアや人生の最終段階における医療、生活習慣病対策等、新しい需要に対応できる質の高い看護職員の養成・確保と研修体制の充実等による資質の向上が課題となっています。

〔看護職員数〕

() は人口 10 万対

	職種	宇摩	新居浜 ・西条	今治	松山	八幡浜・ 大洲	宇和島	県計
平成 18 年	保健師	36 (39.0)	74 (31.3)	71 (39.4)	239 (36.6)	109 (65.7)	78 (59.5)	607 (41.6)
	助産師	10 (10.8)	55 (23.2)	15 (8.3)	128 (19.6)	26 (15.7)	28 (21.4)	262 (18.0)
	看護師	607 (657.4)	2,000 (845.3)	1,317 (730.3)	5,999 (918.1)	1,109 (668.7)	1,169 (892.4)	12,201 (835.9)
	准看護師	367 (397.4)	1,072 (453.1)	953 (528.5)	2,583 (395.3)	1,063 (641.0)	710 (542.0)	6,748 (462.3)
平成 28 年	保健師	43 (49.7)	94 (41.5)	81 (49.4)	273 (42.4)	115 (81.4)	76 (68.2)	682 (49.6)
	助産師	19 (21.9)	54 (23.8)	30 (18.3)	185 (28.7)	10 (7.1)	25 (22.4)	323 (23.5)
	看護師	765 (883.5)	2,556 (1,127.8)	1,657 (1,010.9)	8,465 (1,315.0)	1,418 (1,003.3)	1,290 (1,157.4)	16,151 (1,175.8)
	准看護師	339 (391.5)	916 (404.2)	886 (540.5)	2,141 (332.6)	826 (584.4)	491 (440.5)	5,599 (407.6)

(「衛生行政報告例」医療従事者届より)

(2) 対策

- ・看護教員の再教育による基礎看護教育の強化や、看護師等養成所の運営支援を行うことにより、県内における質の高い看護職員の養成・確保に努めます。
- ・新人看護職員が臨床看護実践能力を獲得するための研修の実施及び支援、病院内保育所の運営支援や看護職員が働きやすい職場づくりのための就労環境改善を行うことにより、離職防止・定着促進に努めます。
- ・未就業者の就業促進を支援するナースバンク事業や、届出制度の活用促進を図ることにより、育児等で離職した看護有資格者の再就業を支援します。
- ・特定行為研修については、地域の実情を踏まえ、必要な体制の構築に努めます。

- ・大規模災害等の健康危機事案や、医療の高度化・医療ニーズの多様化に伴う、専門性の高い看護が提供できる、質の高い看護職員の育成に努めます。
- ・複雑・多様化する健康課題に対応でき、より専門性の高い課題に対応できる人材育成と資質向上を図るため、保健師の現任教育の体制整備・充実に努めます。

5 栄養士及び管理栄養士

(1) 現状と課題

- ・平成 28 年 10 月 1 日現在、県内病院勤務の管理栄養士は常勤換算で 334.1 人、栄養士は 67.0 人であり、100 床当たりでは管理栄養士が 1.5 人（全国平均 1.4 人）、栄養士が 0.3 人（全国平均 0.3 人）となっています。（病院報告）
- ・衛生行政に従事している管理栄養士は市町に 55 人、栄養士は 17 人（平成 29 年 6 月 1 日現在）、管理栄養士は県保健所等に 14 人（平成 29 年 6 月 1 日現在）となっています。（行政栄養士等の配置状況）
- ・少子高齢化や疾病構造の変化が進む中で、生活習慣及び社会環境の改善を通じて、子どもから高齢者まで全ての国民が共に支え合いながら希望や生きがいを持ち、ライフステージに応じて、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現するため、平成 25（2013）年度から 2022 年度までの「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動（健康日本 21（第二次））」を推進する必要があります。

(2) 対策

- ・栄養士及び管理栄養士の確保及び質的向上が求められているため、関係団体等と連携し、栄養士及び管理栄養士の確保に努めるとともに、最新の科学的知見に基づく研修の充実に努めます。
- ・入院患者等に対する生活習慣の改善や栄養指導等を行う管理栄養士及び栄養士の配置を推進します。
- ・行政栄養士の複数配置を促進するため、セミナー等を開催し、栄養士の重要性を啓発します。

6 その他の保健医療従事者

〔理学療法士、作業療法士及び臨床工学技士〕

(1) 現状と課題

- ・平成 28 年 10 月 1 日現在、県内病院勤務の理学療法士は常勤換算で 1,054.9 人、100 床当たり 4.8 人（全国平均 4.8 人）、作業療法士は 686.4 人、100 床当たり 3.1 人（全国平均 2.8 人）、臨床工学技士は 233.6 人、100 床当たり 1.1 人（全国平均 1.3 人）となっています。（病院報告）

(2) 対策

- ・リハビリテーションの推進や医療機器の管理等に伴う需要増に対応するため、県内定着率の向上等により必要数の確保に努めます。

要 望 書

愛媛県においては、団塊の世代が後期高齢者となる2025年、さらには、団塊ジュニア世代が後期高齢者となる2040年に向け、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化を推進しているところであります。

こうした中、地域医療を支える看護職員の需要も増加していることから、新規免許取得者の確保とともに、働き続けられる環境整備や再就業の促進により、看護職員の定着化を図っていく必要があります。

また、近年、医療の高度・専門化、高齢化の進展や疾病構造の変化、県民ニーズの多様化等に伴い、在宅ケアや人生の最終段階における医療、生活習慣病対策等、新しい需要に対応できる質の高い看護職員の養成・確保が求められています。

聖カタリナ大学におかれましては、平成29年度の看護学科設置以降、地域包括ケアシステムの中で活躍できる、地域に根差した看護専門職の養成を目指して学部教育に取り組んでこられました。

新たに設置が予定されている大学院看護学研究科は、社会福祉分野と連携した特色ある研究教育を通して看護職員の資質向上に貢献されるとともに、看護学科新規卒業者だけではなく、在職しながら高度な専門知識を学びたいというニーズに対応するため、昼夜開講や長期履修学生制度の導入により学びやすさに配慮する計画と聞いており、本県における良質な在宅医療の推進への貢献が期待されるところであり、その実現を要望します。

令和3年2月19日

学校法人聖カタリナ学園
理事長 中田 婦美子 様

愛媛県知事 中村 時広



令和3年2月3日

学校法人 聖カタリナ学園
理事長 中田 婦美子 様
聖カタリナ大学
学長 ホビノ・サンミゲル 様

松山市長 野志 克仁



聖カタリナ大学大学院看護学研究科の設置に関する要望書

日頃から松山市政の推進に格別の御配慮を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、人口減少や少子高齢化が進む中、本市では、市民一人ひとりができる限り住み慣れた地域で安心して、自分らしい暮らしを生継続することができるような環境の整備が求められており、地域包括ケアシステムの推進など医療・介護・福祉等の連携の必要性は、これまで以上に高まっています。

また、医療提供体制の在り方が大きく変化する中、医療ニーズの多様化・高度化に対応するため、医療現場の安全・安心を支える看護職員の役割は、ますます重要になっています。

さらに、世界的に大流行し、猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、100年に一度の衛生上の危機とも言われ、今もなお市民生活を脅かしており、今後の新興感染症対策も見据える中、より高度な看護実践能力を備えた人材の養成、確保が強く要請されているところです。

このことから、この度、聖カタリナ大学に大学院看護研究科看護学専攻修士課程の設置計画が進められることは、地域の保健医療福祉に大きな貢献が期待できるものであり、本市が掲げる「幸せ実感都市まつやま」を実現するためにも強く要望いたします。

加えて、設置に際しましては、地域の看護職員が在職したまま修学が可能となるよう、昼夜開講、長期履修制度、現地での分散授業(履修)などについて、併せて要望いたしますので、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

伊（健） 第 237 号
令和 3 年 1 月 21 日

学校法人聖カタリナ学園
理事長 中田 婦美子 様
聖カタリナ大学
学長 ホビノ・サンミゲル 様

伊予市長 武智 邦典



大学大学院看護学研究科の設置に関する要望書

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、少子高齢化や地域住民の医療に対するニーズの多様化に伴い、保健・医療・福祉の連携等による地域包括ケアの推進、充実が大きな課題となっております。こうした中で大きな役割が期待されている「看護職」については、人材の育成、確保が求められているところです。

このような状況を踏まえ、貴法人が計画を進められている聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻の設置は、より高い資質の看護職者育成に向けた計画であり、地域にとっても重要な役割を果たしていただけると期待しております。

つきましては、2022 年（令和 4 年）4 月に貴大学大学院の設置を強く要望いたしますので、是非とも実現していただきますようお願い申し上げます。

2大保第1322号
令和3年1月22日

学校法人聖カタリナ学園
理事長 中田 婦美子 様

聖カタリナ大学
学長 ホビノ・サンミゲル 様

大洲市長 二宮 隆 久



聖カタリナ大学大学院看護学研究科の設立及び看護師の人材育成について（要望）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、看護師の養成を始め、地域医療の充実確保のために格別のご高配を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、現在、本市が所属する二次医療圏域（八幡浜・大洲圏域）においては、看護職の確保と人材育成に大変苦慮している状況にあり、医師をはじめとする医療従事者の不足により、救急医療体制の維持が大きな課題となっています。また、市民の地域医療に対するニーズの多様化に対応するためには、保健・医療・福祉の連携を担える判断力やマネジメント力を備え、多職種との連携を牽引する人材の確保が喫緊の課題であり、地域包括ケアを推進し、更には、不足する医師の負担軽減を図るためにも、高度な知識と能力を備えた看護専門職の養成が求められております。

当地域においては、看護職の高等教育機関としての大学・大学院が限られており、貴学において、大学院看護学研究科の設置計画が進められていることは、当地域の看護学教育の向上と看護専門職の養成はもとより、地域における保健・医療・福祉等の人材確保と資質の確保、ひいては市民の健康増進及び福祉の向上に大きく寄与するものと期待するものです。

地域に密着した高等教育機関の設立により、安定的に高い専門知識をもった人材を地域に輩出して頂けることは、地域への医療従事者の定着にもつながり、本市のみならず、圏域全体に大きく貢献するものです。

つきましては、聖カタリナ大学大学院看護学研究科の設立に対し、その実現を強く要望いたします。

なお、設置に際しましては、地域の看護師が在職のまま修学が可能となるように、昼夜開校、長期履修制度を設けるなど、在職のままでも学びやすくなるような環境整備にご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

八保セ第75号
令和3年2月8日

学校法人聖カタリナ学園
理事長 中田 婦美子 様
聖カタリナ大学
学長 ホビノ・サンミゲル 様

八幡浜市長 大城 一郎



聖カタリナ大学大学院看護学研究科（仮称）の設置に関する要望書

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本市の地域医療の各種施策に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市が運営しております市立八幡浜総合病院をはじめ市内の医療機関においては、近年の医療環境の厳しい状況の下、病院スタッフの人材確保に大変苦慮しており、その中でも看護師は恒常的に不足している状況です。

これを踏まえ、市立八幡浜総合病院では、看護師等の養成施設に在籍する学生で、卒業後、市立八幡浜総合病院において看護師等の業務に従事を希望する学生に対し、修学資金を貸与し、修学を支援しております。その結果、看護師等の人材確保について一定の成果はありますが、抜本的な解決には至っておりません。

このような中、貴学園におかれまして、「聖カタリナ大学大学院看護学研究科（仮称）」の設置計画が進められているとのことであり、高度な専門知識を持つ人材を養成していただけることに対しまして、大きな期待を寄せるところであります。

つきましては、ここに聖カタリナ大学大学院看護学研究科（仮称）の設置を要望し、人材の輩出を切に願うものであります。

なお、今後、看護学研究科が設置され、同研究科の学生が卒業時に保健医療福祉の施設等に勤務を希望される際には、本市の医療機関におけるひっ迫した看護師不足の状況にご配慮いただき、卒業生の皆様に対し、本市の医療機関への就業につきまして積極的に働きかけていただきますようお願い申し上げます。

令和3年2月2日

学校法人 聖カタリナ学園
理事長 中田 婦美子 様

公益社団法人 愛媛県看護協会
会長 小椋 史香



聖カタリナ大学大学院看護学研究科の設置に関する要望書

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より愛媛県看護協会の活動につきまして、ご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の保健医療福祉を取り巻く環境は急速に変化し、少子超高齢化、人口減少、地域偏在、災害や新興感染症等により、甚大な生活への影響が生じています。

このような環境下において、本協会では看護の専門職能団体として看護の質の向上を図るとともに、住み慣れた地域で人々が安心して、自分らしく暮らすことができる共生社会をめざし、地域包括ケアを推進し、保健医療福祉に貢献する活動を行っています。

本県においても人口減少、地域偏在が進行している状況の中、高度な専門知識と科学的根拠に基づいた看護実践能力を持ち、ITの有効活用や多職種連携により、マネジメントのできる看護職の育成が喫緊の課題となっています。看護職は、あらゆる場、あらゆる人に良質な看護・療養支援が包括的に提供できるよう、医療と生活双方の視点から保健医療福祉を繋ぐキーパーソンとしての役割を担っています。

聖カタリナ大学におかれましては、人間健康福祉学部として、看護学科、社会福祉学科、人間社会学科、健康スポーツ学科を備え、多様な講師陣の協働により、地域包括ケアシステム構築に必要な人材育成が可能と考えます。

また、科学的根拠に基づく看護実践と臨床現場で生かせる研究の推進を図るために、社会人入学についてご配慮いただき、高度な専門知識を有する看護職・看護管理者の育成、教育研究者の育成に寄与していただくことを期待しております。

このような観点から貴大学におかれましては、これまでと同様、本協会の主旨にご理解を賜り、さらなる看護職者の資質向上に向けた大学院設置を実現して頂きますことを要望致します。

媛社管第190号
令和3年1月18日

学校法人 聖カタリナ学園
理事長 中 田 婦美子 様

社会福祉法人
愛媛県社会福祉協議会
会長 河 田 正 道



聖カタリナ大学大学院看護学研究科の設置に関する要望書

本会の事業推進につきましては、日頃から格別のご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、近年の我が国の保健医療福祉を取り巻く環境は急速に変化し、少子高齢化、過疎化、人口減少、介護力低下などの課題が山積しており、各地域では連携を基盤とした地域包括ケアシステムの構築やその強化が求められております。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される、地域の特性に応じた地域包括システムを構築するためには、それぞれの分野における質の高い人材の育成が急務であり、本会におきましても、介護職の確保や研修によるレベルアップなどに取り組んでいるところです。

このような中、今般、貴法人が、保健、医療、福祉をつなぐキーパーソンとして地域包括ケアシステムの構築に寄与できる高度専門職業人を養成することを目的に、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の設置構想を打ち出されたことは、誠に時宜を得たものであり、愛媛県における看護教育の発展はもとより、他職種との連携・協働が一層図られ、地域包括ケアシステムの強化につながるものと大きな期待を寄せております。

つきましては、貴法人の構想のとおり、令和4年4月に是非とも大学院を設置していただきますよう強く要望いたします。

令和3年1月27日

学校法人 聖カタリナ学園
理事長 中田 婦美子 様

一般財団法人永頼会
松山市民病院
理事長 山本 祐司



聖カタリナ大学大学院看護学研究科の設置に関する要望書

日ごろ当院の運営に際しましては、ご支援ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

また、当院の看護師確保にあたりましては、特に聖カタリナ学園には多大なご支援をいただいております、重ねて感謝申し上げます。

さて、当院の属する愛媛県中予（松山）医療圏は、今後の少子高齢化の進展などに伴い、保健・医療・福祉の連携等による地域包括ケアの推進、充実が大きな課題となっています。

こうした中で大きな役割が期待されている「看護職」については、人材の育成、確保がなにより重要となっています。しかしながら当地域には、高等教育機関としての大学院が未整備な状況にあります。

このたび、聖カタリナ大学に大学院看護学研究科の設置計画が進められているとのことですが、大学院の設置は、当院のみならず当地域にとっても大きな貢献が期待できるものであり、その実現を強く要望いたします。

なお、設置に際しましては、当院の看護師など地域の看護師が在職のまま修学が可能となるよう、昼夜開講、長期履修制度、現地での分散授業（履修）などについて、あわせて要望いたします。

聖カタリナ大学大学院 看護学研究科
看護学専攻（修士課程）（仮称）の修了者に対する
病院・医療関連施設等の採用意向に関するアンケート調査報告

令和3年2月

一般財団法人 日本開発構想研究所

聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)の修了者 に対する病院・医療関連施設等の採用意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

令和4年4月に予定している聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)の開設に向けて、修了者の就職が見込まれる6県(愛媛県、香川県、徳島県、高知県、岡山県、広島県)の病院・医療関連施設等の採用担当者にアンケートを実施し、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)の修了者に対する病院・医療関連施設等の採用意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)修了者の就職が見込まれる病院・医療関連施設等657施設の採用担当者にアンケート調査を実施。

(3) 調査方法

聖カタリナ大学大学院修了者の就職が見込まれる病院・医療関連施設等657施設の採用担当者にアンケート用紙及び聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)の概要を示したリーフレットを送付し、アンケートを実施した。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ病院・医療関連施設等から直接郵送。

その結果、197件の有効回答を得た。集計結果より、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)(仮称)の修了者に対する採用意向を分析した。

(4) 調査実施期間

令和2年12月～令和3年1月

(5) 有効回収率等

配布数：657施設

有効回答数：197件

有効回収率：約30.0% (有効回答197件 ÷ 配布数657件)

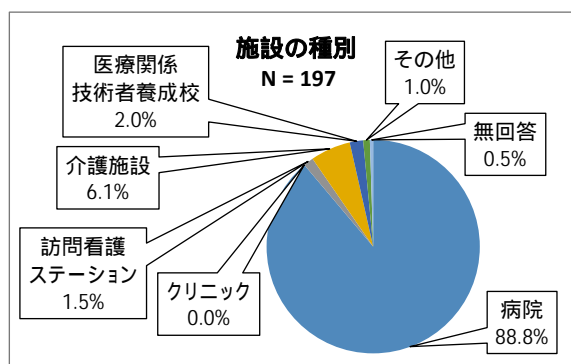
聖カタリナ大学にて設置を構想している大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)は仮称であるが、その旨の表示を本文中では省略した。

2. 調査結果

(1) 施設の種別について

施設の種別について調査した結果、回答のあった病院・医療関連施設等 197 施設のうち、「病院」が 175 件 (88.8%) と最も多く、次いで「介護施設」12 件 (6.1%)、「医療関係技術者養成校」4 件 (2.0%)、「訪問看護ステーション」3 件 (1.5%)、「その他」2 件 (1.0%) の順になっている。「無回答」1 件 (0.5%)

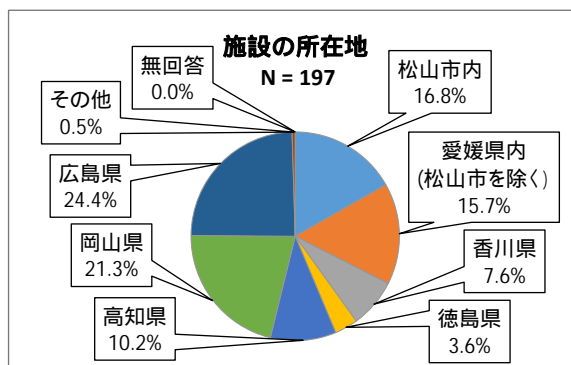
カテゴリ	件数	(全体)%
1 病院	175	88.8
2 クリニック	0	0.0
3 訪問看護ステーション	3	1.5
4 介護施設	12	6.1
5 医療関係技術者養成校	4	2.0
6 その他	2	1.0
無回答	1	0.5
N (% [^] -)	197	100



(2) 施設の所在地について

施設の所在地について調査した結果、回答のあった病院・医療関連施設等 197 施設のうち、「広島県」が 48 件 (24.4%) と最も多く、次いで「岡山県」42 件 (21.3%)、「松山市内」33 件 (16.8%)、「愛媛県内 (松山市を除く)」31 件 (15.7%)、「高知県」20 件 (10.2%)、「香川県」15 件 (7.6%)、「徳島県」7 件 (3.6%)、「その他」1 件 (0.5%) の順になっている。

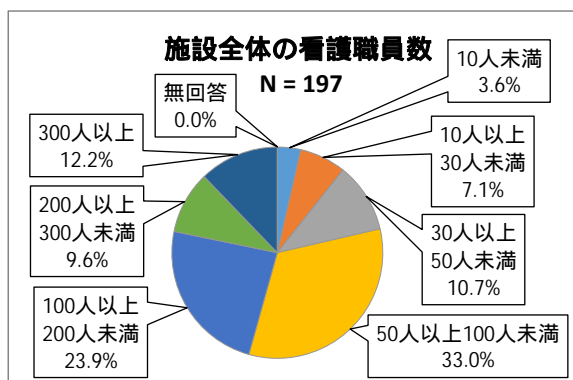
カテゴリ	件数	(全体)%
1 松山市内	33	16.8
2 愛媛県内(松山市を除く)	31	15.7
3 香川県	15	7.6
4 徳島県	7	3.6
5 高知県	20	10.2
6 岡山県	42	21.3
7 広島県	48	24.4
8 その他	1	0.5
無回答	0	0.0
N (% [^] -)	197	100



(3) 施設全体の看護職員数について

施設全体の看護職員数について調査した結果、回答のあった病院・医療関連施設等 197 施設のうち、「50人以上100人未満」が65件(33.0%)と最も多く、次いで「100人以上200人未満」47件(23.9%)、「300人以上」24件(12.2%)、「30人以上50人未満」21件(10.7%)、「200人以上300人未満」19件(9.6%)、「10人以上30人未満」14件(7.1%)、「10人未満」7件(3.6%)の順になっている。

	カテゴリ	件数	(全体)%
1	10人未満	7	3.6
2	10人以上30人未満	14	7.1
3	30人以上50人未満	21	10.7
4	50人以上100人未満	65	33.0
5	100人以上200人未満	47	23.9
6	200人以上300人未満	19	9.6
7	300人以上	24	12.2
	無回答	0	0.0
	N (%^ -λ)	197	100

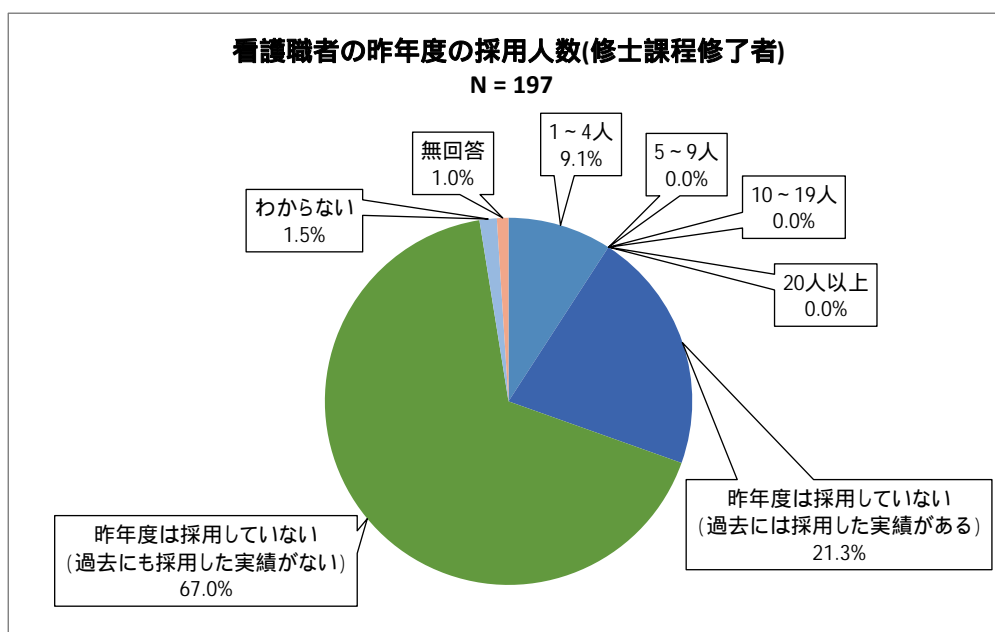


(4) 看護職者の昨年度の採用人数(修士課程修了者)について

大学院(修士課程)修了の看護職者の昨年度採用人数について調査した結果、回答のあった病院・医療関連施設等 197 施設のうち、「昨年度は採用していない(過去にも採用した実績がない)」が 132 件(67.0%)と最も多く、次いで「昨年度は採用していない(過去には採用した実績がある)」42 件(21.3%)、「1~4人」18 件(9.1%)、「わからない」3 件(1.5%)の順になっている。「無回答」2 件(1.0%)

看護職者の昨年度の採用人数(修士課程修了者)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 1~4人	18	9.1
2 5~9人	0	0.0
3 10~19人	0	0.0
4 20人以上	0	0.0
5 昨年度は採用していない(過去には採用した実績がある)	42	21.3
6 昨年度は採用していない(過去にも採用した実績がない)	132	67.0
7 わからない	3	1.5
無回答	2	1.0
N (%^ -ス)	197	100



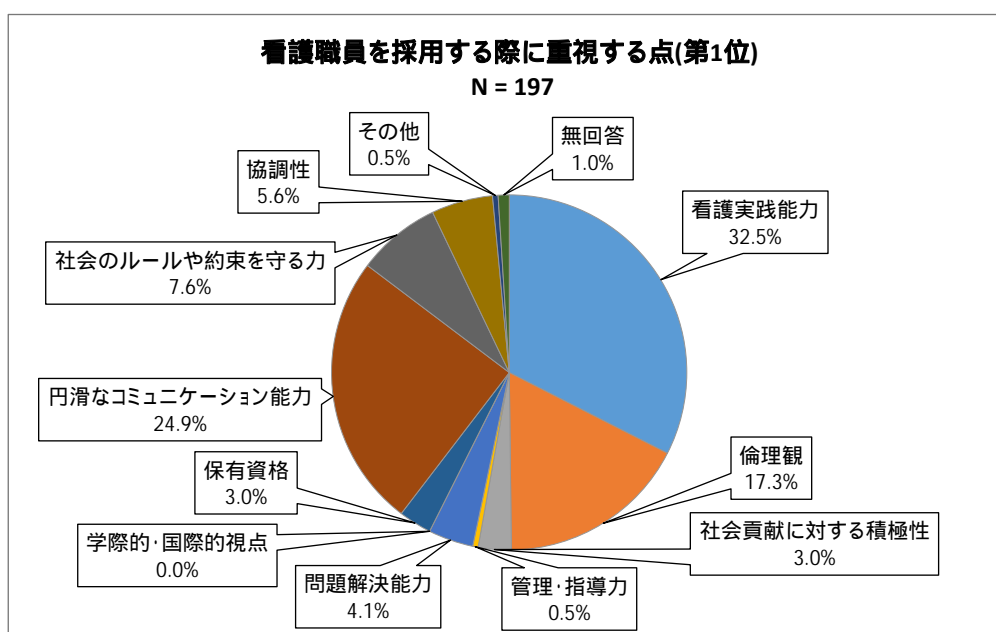
(5) 看護職員を採用する際に重視する点について

5-1 看護職員を採用する際に重視する点(第1位)について

看護職員(看護教員含む)を採用する際に特に重視している点について調査した結果、回答のあった病院・医療関連施設等 197 施設のうち、「看護実践能力」が 64 件(32.5%)と最も多く、次いで「円滑なコミュニケーション能力」49 件(24.9%)、「倫理観」34 件(17.3%)、「社会のルールや約束を守る力」15 件(7.6%)、「協調性」11 件(5.6%)、「問題解決能力」8 件(4.1%)、「社会貢献に対する積極性」6 件(3.0%)、「保有資格」6 件(3.0%)、「管理・指導力」1 件(0.5%)、「その他」1 件(0.5%)の順になっている。「無回答」2 件(1.0%)

看護職員を採用する際に重視する点(第1位)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 看護実践能力	64	32.5
2 倫理観	34	17.3
3 社会貢献に対する積極性	6	3.0
4 管理・指導力	1	0.5
5 問題解決能力	8	4.1
6 学際的・国際的視点	0	0.0
7 保有資格	6	3.0
8 円滑なコミュニケーション能力	49	24.9
9 社会のルールや約束を守る力	15	7.6
10 協調性	11	5.6
11 その他	1	0.5
無回答	2	1.0
N (% [^] -入)	197	100

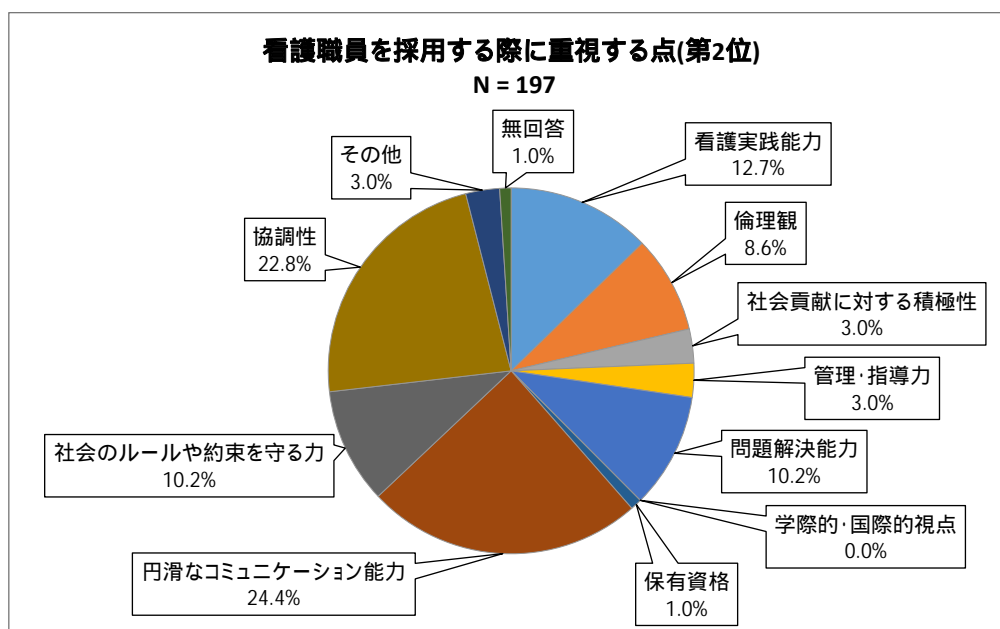


5-2 看護職員を採用する際に重視する点（第2位）について

看護職員（看護教員含む）を採用する際に特に重視している点について調査した結果、回答のあった病院・医療関連施設等 197 施設のうち、「円滑なコミュニケーション能力」が 48 件（24.4%）と最も多く、次いで「協調性」45 件（22.8%）、「看護実践能力」25 件（12.7%）、「問題解決能力」20 件（10.2%）、「社会のルールや約束を守る力」20 件（10.2%）、「倫理観」17 件（8.6%）、「社会貢献に対する積極性」6 件（3.0%）、「管理・指導力」6 件（3.0%）、「その他」6 件（3.0%）、「保有資格」2 件（1.0%）の順になっている。「無回答」2 件（1.0%）

看護職員を採用する際に重視する点(第2位)

カテゴリ	件数	(全体)%
1 看護実践能力	25	12.7
2 倫理観	17	8.6
3 社会貢献に対する積極性	6	3.0
4 管理・指導力	6	3.0
5 問題解決能力	20	10.2
6 学際的・国際的視点	0	0.0
7 保有資格	2	1.0
8 円滑なコミュニケーション能力	48	24.4
9 社会のルールや約束を守る力	20	10.2
10 協調性	45	22.8
11 その他	6	3.0
無回答	2	1.0
N (%ベース)	197	100

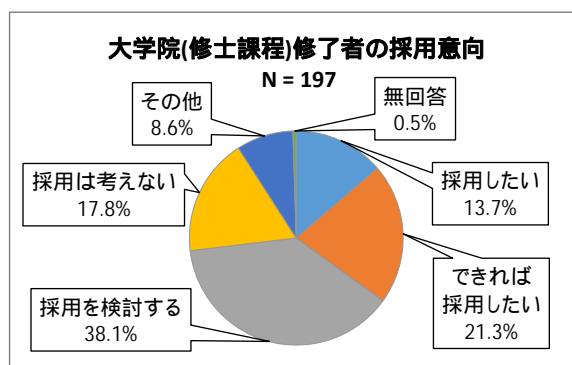


(6) 大学院（修士課程）修了者の採用意向について

将来的な大学院（修士課程）修了者の看護職者の採用意向について調査した結果、回答のあった病院・医療関連施設等 197 施設のうち、「採用を検討する」が 75 件（38.1%）と最も多く、次いで「できれば採用したい」42 件（21.3%）、「採用は考えない」35 件（17.8%）、「採用したい」27 件（13.7%）、「その他」17 件（8.6%）の順になっている。「無回答」1 件（0.5%）

大学院(修士課程)修了者の採用意向

カテゴリ	件数	(全体)%
1 採用したい	27	13.7
2 できれば採用したい	42	21.3
3 採用を検討する	75	38.1
4 採用は考えない	35	17.8
5 その他	17	8.6
無回答	1	0.5
N (% [^] -ス)	197	100

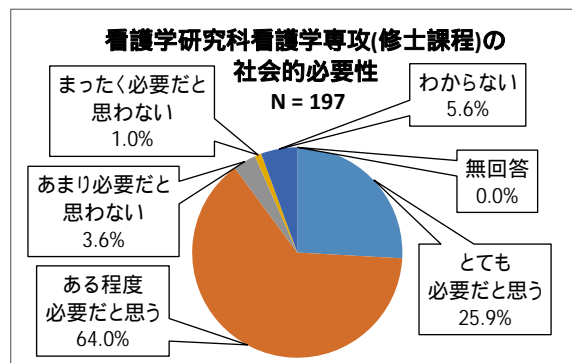


(7) 看護学研究科看護学専攻（修士課程）の社会的必要性について

看護学研究科看護学専攻（修士課程）の社会的必要性について調査した結果、回答のあった病院・医療関連施設等 197 施設のうち、「ある程度必要だと思う」が 126 件（64.0%）と最も多く、次いで「とても必要だと思う」51 件（25.9%）、「わからない」11 件（5.6%）、「あまり必要だと思わない」7 件（3.6%）、「まったく必要だと思わない」2 件（1.0%）の順になっている。

看護学研究科看護学専攻(修士課程)の社会的必要性

カテゴリ	件数	(全体)%
1 とても必要だと思う	51	25.9
2 ある程度必要だと思う	126	64.0
3 あまり必要だと思わない	7	3.6
4 まったく必要だと思わない	2	1.0
5 わからない	11	5.6
無回答	0	0.0
N (% [^] -ス)	197	100



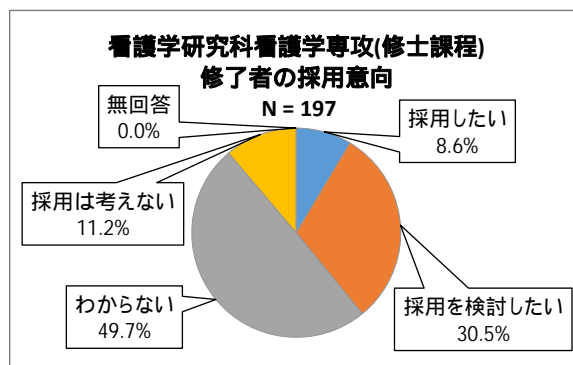
(8) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)修了者の採用意向について

聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)修了者の採用意向について調査した結果、「わからない」が 98 件(49.7%)と最も多く、次いで「採用を検討したい」60 件(30.5%)、「採用は考えない」22 件(11.2%)、「採用したい」17 件(8.6%)の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、77 件(39.1%)となっている。

看護学研究科看護学専攻(修士課程)修了者の採用意向

カテゴリ	件数	(全体)%
1 採用したい	17	8.6
2 採用を検討したい	60	30.5
3 わからない	98	49.7
4 採用は考えない	22	11.2
無回答	0	0.0
N (%ベース)	197	100

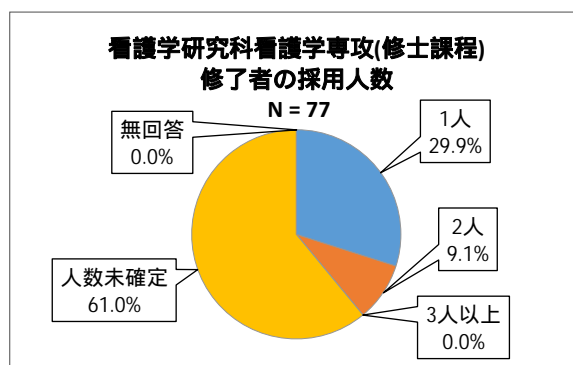


(9) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)修了者の採用人数について

「(8) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)修了者の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 77 施設に対して、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)修了者の将来的な採用人数について調査した結果、「人数未確定」が 47 件(61.0%)と最も多く、次いで「1人」23 件(29.9%)、「2人」7 件(9.1%)の順になっている。

看護学研究科看護学専攻(修士課程)修了者の採用人数

カテゴリ	件数	(全体)%
1 1人	23	29.9
2 2人	7	9.1
3 3人以上	0	0.0
4 人数未確定	47	61.0
無回答	0	0.0
N (%ベース)	77	100



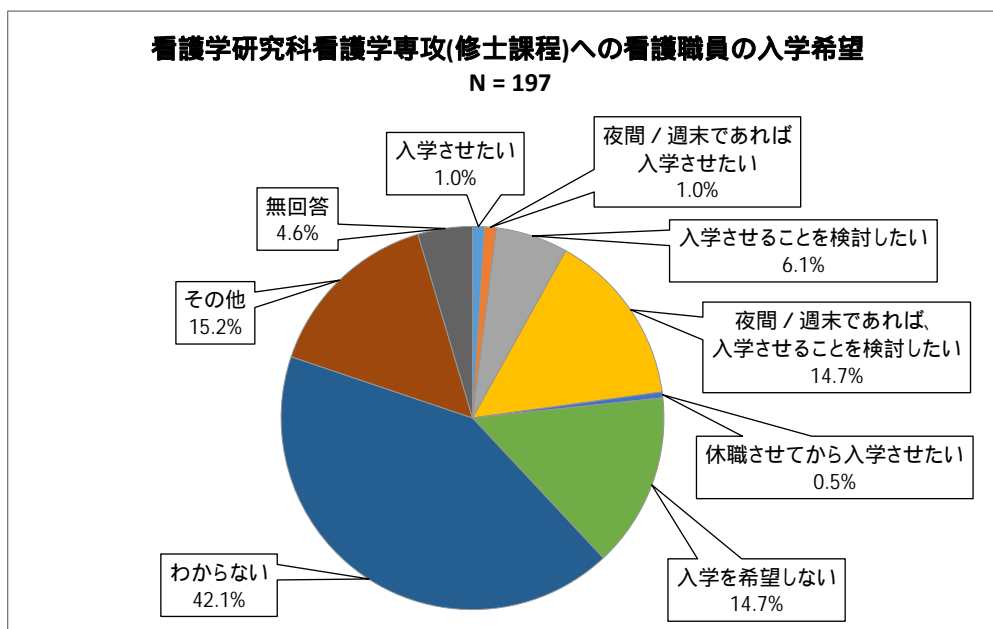
(10) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への看護職員の入学希望について

現役看護職員の聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)への入学希望について調査した結果、「わからない」が83件(42.1%)と最も多く、次いで「その他」30件(15.2%)、「夜間/週末であれば、入学させることを検討したい」29件(14.7%)、「入学を希望しない」29件(14.7%)、「入学させることを検討したい」12件(6.1%)、「入学させたい」2件(1.0%)、「夜間/週末であれば入学させたい」2件(1.0%)、「休職させてから入学させたい」1件(0.5%)の順になっている。

「無回答」9件(4.6%)

看護学研究科看護学専攻(修士課程)への看護職員の入学希望

カテゴリ	件数	(全体)%
1 入学させたい	2	1.0
2 夜間/週末であれば入学させたい	2	1.0
3 入学させることを検討したい	12	6.1
4 夜間/週末であれば、入学させることを検討したい	29	14.7
5 休職させてから入学させたい	1	0.5
6 入学を希望しない	29	14.7
7 わからない	83	42.1
8 その他	30	15.2
無回答	9	4.6
N (%^ -ス)	197	100

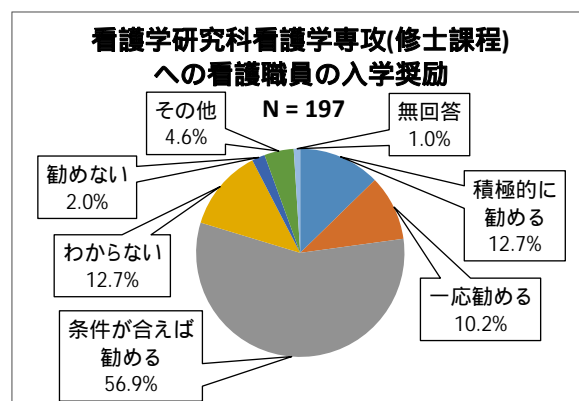


(11) 看護学研究科看護学専攻(修士課程)への看護職員の入学奨励について

聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)への看護職員の入学奨励について調査した結果、「条件が合えば勧める」が112件(56.9%)と最も多く、次いで「積極的に勧める」25件(12.7%)、「わからない」25件(12.7%)、「一応勧める」20件(10.2%)、「その他」9件(4.6%)、「勧めない」4件(2.0%)の順になっている。「無回答」2件(1.0%)

看護学研究科看護学専攻(修士課程)への看護職員の入学奨励

カテゴリ	件数	(全体)%
1 積極的に勧める	25	12.7
2 一応勧める	20	10.2
3 条件が合えば勧める	112	56.9
4 わからない	25	12.7
5 勧めない	4	2.0
6 その他	9	4.6
無回答	2	1.0
N (%ベース)	197	100



3. 調査結果のまとめ

聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の修了者に対する将来的な採用意向人数の集計にあたっては、「(8) 看護学研究科看護学専攻（修士課程）修了者の採用意向について」の肯定的な回答数と、「(9) 看護学研究科看護学専攻（修士課程）修了者の採用人数について」の将来的な採用人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人以上」、「人数未確定」()）を乗じ、これを合計し、算出した。

「3人以上」は最低数である「3人」として計算した。

「人数未確定」とは、「(8) 看護学研究科看護学専攻（修士課程）修了者の採用意向について」にて、「採用したい」、「採用を検討したい」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケートの時点では将来的な採用人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数未確定」の将来的な採用人数を最低数である「1人」として計算した。

下表より、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の修了者に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、19人分となる。入学定員は5人であるため、3.8倍の採用意向人数を確保できている。

また、「採用したい」、「採用を検討したい」と回答した施設の採用意向人数を合計すると84人分となり、これは入学定員5人に対して、16.8倍となる。

看護学研究科看護学専攻(修士課程)

回答数(件)	「採用したい」のみ		合計	
人数(人)				
1人(A)	4	(a)	(A) × (a)	4
2人(B)	2	(b)	(B) × (b)	4
3人以上(C)	-	(c)	(C) × (c)	-
人数未確定(D)	11	(d)	(D) × (d)	11
無回答	-			

合計採用意向 19人

回答数(件)	「採用したい」 「採用を検討したい」の合計		合計	
人数(人)				
1人(A)	23	(a)	(A) × (a)	23
2人(B)	7	(b)	(B) × (b)	14
3人以上(C)	-	(c)	(C) × (c)	-
人数未確定(D)	47	(d)	(D) × (d)	47
無回答	-			

合計採用意向 84人

以上の調査結果と、今回の調査対象以外への進路も考えられることから、聖カタリナ大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の修了者の進路は十分に確保できるものとする。

調查票

聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）の
設置に係るアンケート調査

- 聖カタリナ大学では、令和4年（2022年）4月を目途に大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）（仮称）の設置を計画しています。このアンケート調査は大学院設置計画の基礎資料とするため、貴施設の採用状況・意向についてお伺いするものです。ご協力をお願いします。
- このアンケートの結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
- 回答は、該当する番号を回答欄の□の中へ直接ご記入ください。
- * 内容は構想中であり、変更となる場合がございます。

★調査回答締め切りのお願い★

令和3年1月15日（金）までに、同封の返信用封筒にてご投函頂きますようお願いいたします。

問1 貴施設の種類について、次の中から1つお選びください。 【回答欄】

- | | | |
|--------------|--------------|---|
| 1 病院 | 4 介護施設 |] <input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/> |
| 2 クリニック | 5 医療関係技術者養成校 | |
| 3 訪問看護ステーション | 6 その他 [具体的に | |

問2 貴施設の所在地について、次の中から1つお選びください。

- | | | | |
|----------------|-------|--------|---|
| 1 松山市内 | 4 徳島県 | 7 広島県 |] <input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/> |
| 2 愛媛県内（松山市を除く） | 5 高知県 | 8 その他[| |
| 3 香川県 | 6 岡山県 | | |

問3 貴施設（施設全体）における看護職員数（看護教員含む）について、次の中から1つお選びください。

- | | | | |
|---------------|-----------------|----------|---|
| 1 10人未満 | 4 50人以上 100人未満 | 7 300人以上 |] <input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/> |
| 2 10人以上 30人未満 | 5 100人以上 200人未満 | | |
| 3 30人以上 50人未満 | 6 200人以上 300人未満 | | |

問4 貴施設で昨年度（令和2年4月入職）に大学院（修士課程）修了の看護職者を何人程度採用されましたか。その人数について、次の中から1つお選びください。

- | | | |
|----------|------------------------------|---|
| 1 1～4人 | 5 昨年度は採用していない（過去には採用した実績がある） |] <input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/> |
| 2 5～9人 | 6 昨年度は採用していない（過去にも採用した実績がない） | |
| 3 10～19人 | 7 わからない | |
| 4 20人以上 | | |

問5 貴施設では看護職員（看護教員含む）を採用する際に、特にどのようなことを重視していますか。次の中から第2位までお選びください。

- | | | |
|---------------|------------------|---|
| 1 看護実践能力 | 6 学際的・国際的視点 | 第1位 <input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/> |
| 2 倫理観 | 7 保有資格 | |
| 3 社会貢献に対する積極性 | 8 円滑なコミュニケーション能力 | 第2位 <input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/> |
| 4 管理・指導力 | 9 社会のルールや約束を守る力 | |
| 5 問題解決能力 | 10 協調性 | |
| | 11 その他 [具体的に |] |

問6 貴施設における将来的な大学院（修士課程）修了者の看護職者の採用意向について、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

- | | | |
|-------------|-------------|---|
| 1 採用したい | 4 採用は考えない |] <input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/> |
| 2 できれば採用したい | 5 その他 [具体的に | |
| 3 採用を検討する | | |

裏面へお進みください

ここからは、聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）の概要リーフレットを
ご覧いただいた上でご回答ください

[聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）について]

問7 貴施設では、本学設置予定の看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）の特徴について、これからの社会でどの程度必要だと思われますか。次の中から 1つお選びください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 とても必要だと思う | 4 まったく必要だと思わない |
| 2 ある程度必要だと思う | 5 わからない |
| 3 あまり必要だと思わない | |

問8 聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）修了生の採用意向について、次の中から 1つお選びください。

- 1 採用したい
2 採用を検討したい
3 わからない
4 採用は考えない

1、2を選択された方は問9へお進みください。
3、4を選択された方は問10へお進みください。

問9 問8で「採用したい」「採用を検討したい」を選択された施設におたずねします。貴施設では将来、聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）の修了者を毎年何人程度採用したいとお考えですか。次の中から 1つお選びください。

- 1 1人 2 2人 3 3人以上 4 人数未確定

番号でお答え下さい

[聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）への看護職員の入学について]

問10 貴施設では、本学設置予定の看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）に、貴施設で働く方の入学を希望しますか。次の中から 1つお選びください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1 入学させたい | 5 休職させてから入学させたい |
| 2 夜間／週末であれば入学させたい | 6 入学を希望しない |
| 3 入学させることを検討したい | 7 わからない |
| 4 夜間／週末であれば、
入学させることを検討したい | 8 その他 [具体的に] |

問11 貴施設では、仮に現役の看護職員（看護教員含む）から本学設置予定の看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）で学びたいと申し入れがあった場合、入学を勧めますか。次の中から 1つお選びください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 積極的に勧める | 4 わからない |
| 2 一応勧める | 5 勧めない |
| 3 条件が合えば勧める | 6 その他[具体的に] |

問12 聖カタリナ大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程）（仮称）の設置計画に、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。その他、大学の教育内容・活動等についてご希望があれば、あわせてご記入ください。

◆アンケートは以上となります。ご協力誠にありがとうございました◆

学校法人聖カタリナ学園 聖カタリナ大学
松山市駅キャンパス事務局（担当：三宅）
TEL：089-947-0502（代表）

計画概要

※内容は構想中のものであり、変更になる場合があります。

聖カタリナ大学大学院<設置構想中> 看護学研究科看護学専攻（仮称） 2022年（令和4年）4月設置予定 修士課程

設置構想中

学 位	修士（看護学）
入学定員	5名（予定）男女共学
修業年限	2年（最長4年まで）
入学時期	4月
設置場所	聖カタリナ大学松山市駅キャンパス内

教育目的

看護学研究科看護学専攻（仮称）は、療養支援看護学分野及び特定実践支援看護学分野の研究教育を通して、多職種との連携・協働の視点を踏まえ、保健・医療・福祉を繋ぐキーパーソンとして地域包括ケアシステムの構築に寄与できる高度専門職業人を養成することを目的とします。

出願資格

- 次の（１）～（７）のいずれかに該当する者。
- （１）大学を卒業した者（卒業見込みの者を含む）。
 - （２）学校教育法により学士の学位を授与された者。
 - （３）外国において学校教育における16年の課程を修了した者。
 - （４）文部科学大臣の指定した者。
 - （５）外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
 - （６）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
 - （７）その他、本大学院において大学を卒業した者と同等の学力があると認められた者。
- 出願資格については事前に個別にご相談ください。

修了要件

2年以上在学し、修了所要単位数30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該修士課程の目的に応じた修士論文の成果の審査及び最終試験に合格すること。

想定される卒業後の進路

- （１）高度な専門知識をもつ人材として、保健医療福祉の施設等に勤務
- （２）教育者・研究者として看護系大学や研究機関に勤務
- （３）大学院（博士後期課程）への進学など

社会人学生に対する配慮

看護職者の資質向上に貢献する目的で、社会人の受け入れを行います。
勤務しながら通学できるよう、大学院設置基準の第14条特例に基づく昼夜開講や、修業年限を4年に延長する長期履修学生制度を設け、在職のまま学びやすくなるよう配慮します。

土曜 ① 8:50～10:20 ② 10:30～12:00 ③ 13:00～14:30 ④ 14:40～16:10
平日 ⑤ 18:00～19:30 ⑥ 19:40～21:10
（全てがこの時間の開講ではありません）

裏面もご覧ください。



学校法人 聖カタリナ学園
聖カタリナ大学
聖カタリナ大学短期大学部

<お問い合わせ先>

聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス事務局
TEL: 089-947-0502
〒790-0022 愛媛県松山市永代町10番地1

設置構想中

※内容は構想中のものであり、変更になる場合があります。

養成する人材像

本学大学院では、保健医療福祉領域における連携・協働を推進し、高度な看護実践能力を備えた人材を養成します。

- (1) 地域包括ケアの推進と構築を支えるための臨床判断力を備えた人を養成します。
- (2) 地域の人々のニーズに応じて健康に関する諸現象を分析し、構造化する力、マネジメントする力を備えた人を養成します。
- (3) 多職種との連携を牽引し、地域の人々とともに歩む人を養成します。

専攻の教育分野

本学大学院では、以下の分野についての教育を行います。

療養支援看護学分野

地域包括ケアシステムの中で多職種・多機関と連携を図りながら、臨床と在宅をつなぎ、認知症・要介護高齢者・難病療養者の長期療養支援、フレイル予防やエンド・オブ・ライフケアなどに求められている療養支援における看護実践上の課題を見出し、継続的で質の高い看護を構築することを目指します。

特定実践支援看護学分野

成育看護学、成人看護学、地域・公衆衛生看護学のそれぞれの専門性を各領域の実践的な視点から深めることにより、患者や家族、地域住民の健康を支える専門知識と技術を高め、臨床現場における問題に対してより質の高い看護を構築することを目指します。

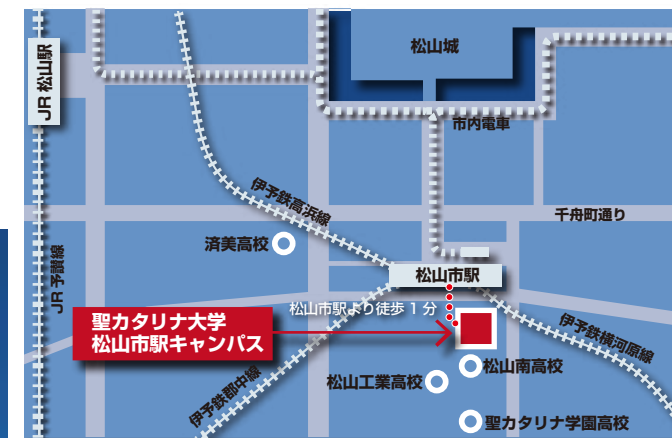
類似の近隣の大学院

大学院名	入学定員	入学金	授業料（年額）	1年次合計
愛媛大学大学院 医学系研究科看護学専攻	12名	¥282,000	¥535,800	¥817,800
愛媛県立医療技術大学大学院 保健医療学研究科看護学専攻	5名	¥282,000（県内） ¥423,000（県外）	¥535,800	¥817,800 ¥958,800
聖カタリナ大学大学院（設置構想中） 看護学研究科看護学専攻（仮称）	5名	¥200,000（※1）	¥500,000	¥700,000

※1：本学と連携協力に関する協定書を交わしている施設および本学看護学科の実習施設の職員、看護師養成学校の教員及び本学卒業生（卒業見込みを含む）は、入学金免除。

※2：各大学院の情報は、ホームページから転載。

聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス



聖カタリナ大学 松山市駅キャンパス

※松山市駅南口から徒歩1分

〒790-0022

愛媛県松山市永代町10番地1

TEL: 089-947-0502

FAX: 089-947-0505

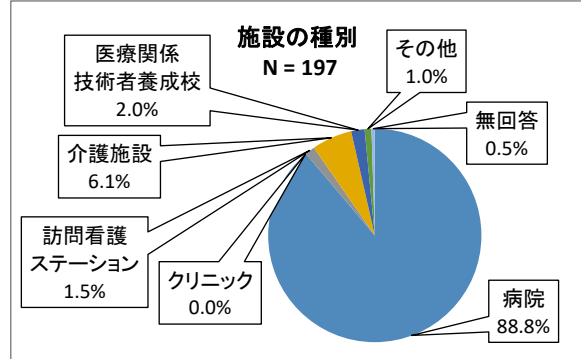
URL: <https://www.catherine.ac.jp>



単純集計表

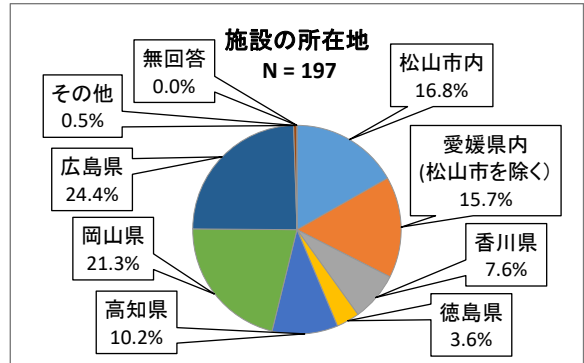
施設の種別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病院	175	88.8
2	クリニック	0	0.0
3	訪問看護ステーション	3	1.5
4	介護施設	12	6.1
5	医療関係技術者養成校	4	2.0
6	その他	2	1.0
	無回答	1	0.5
	N (% [^] -ス)	197	100



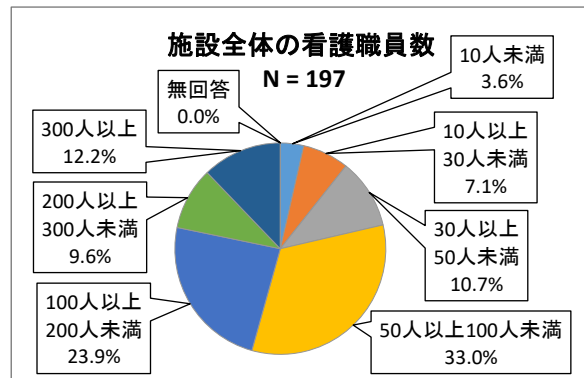
施設の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	松山市内	33	16.8
2	愛媛県内(松山市を除く)	31	15.7
3	香川県	15	7.6
4	徳島県	7	3.6
5	高知県	20	10.2
6	岡山県	42	21.3
7	広島県	48	24.4
8	その他	1	0.5
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -ス)	197	100



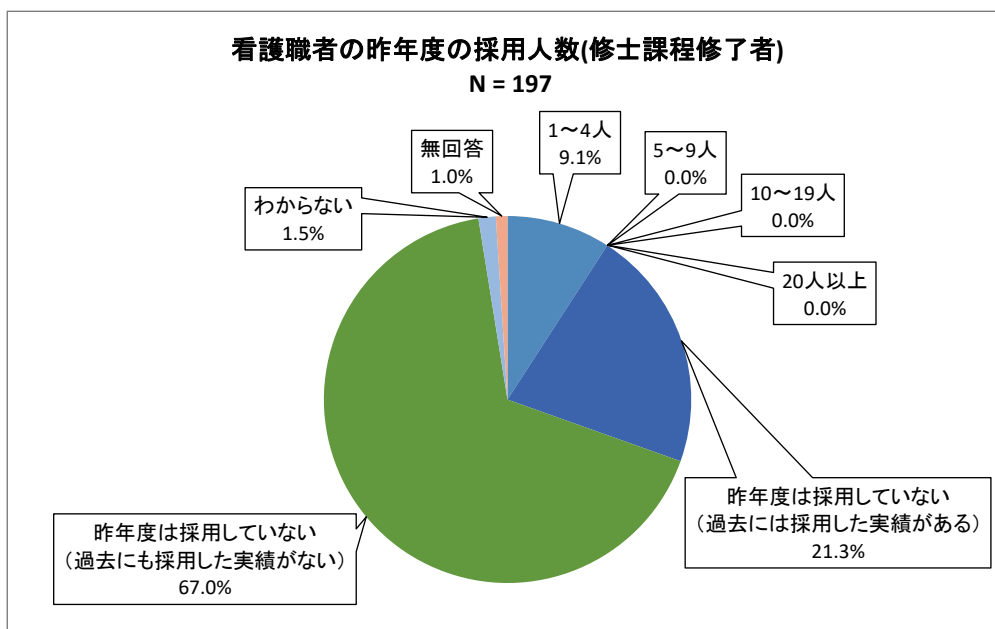
施設全体の看護職員数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	10人未満	7	3.6
2	10人以上30人未満	14	7.1
3	30人以上50人未満	21	10.7
4	50人以上100人未満	65	33.0
5	100人以上200人未満	47	23.9
6	200人以上300人未満	19	9.6
7	300人以上	24	12.2
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -ス)	197	100



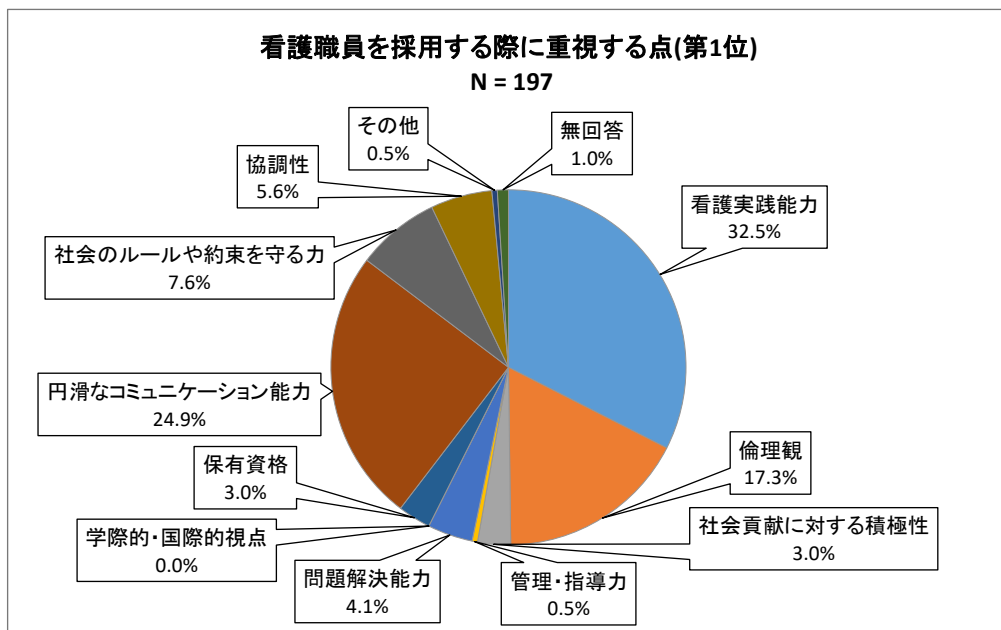
看護職者の昨年度の採用人数(修士課程修了者)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1~4人	18	9.1
2	5~9人	0	0.0
3	10~19人	0	0.0
4	20人以上	0	0.0
5	昨年度は採用していない(過去には採用した実績がある)	42	21.3
6	昨年度は採用していない(過去にも採用した実績がない)	132	67.0
7	わからない	3	1.5
	無回答	2	1.0
	N (%ベース)	197	100



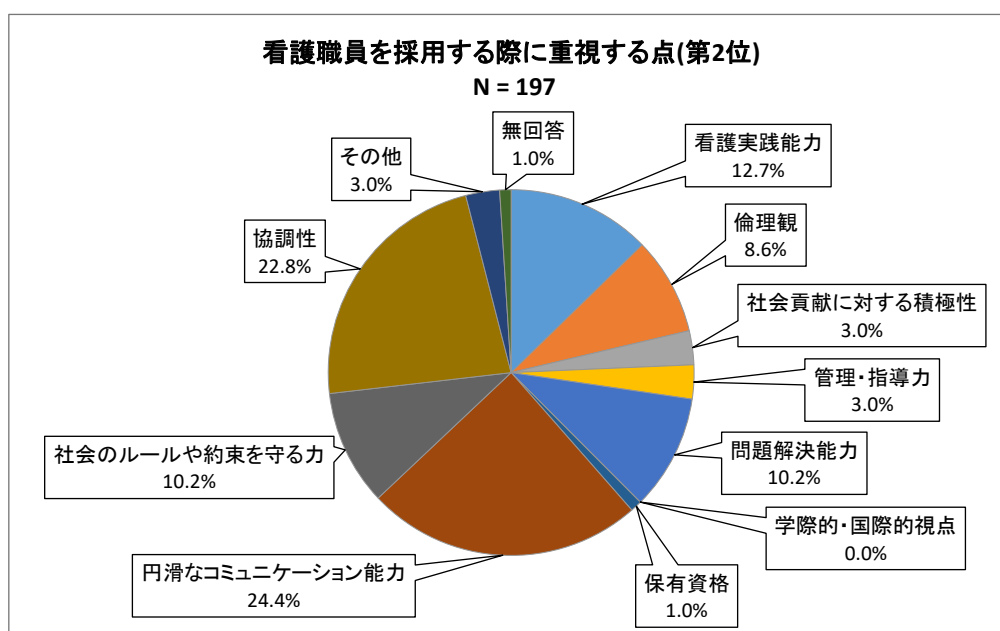
看護職員を採用する際に重視する点(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	看護実践能力	64	32.5
2	倫理観	34	17.3
3	社会貢献に対する積極性	6	3.0
4	管理・指導力	1	0.5
5	問題解決能力	8	4.1
6	学際的・国際的視点	0	0.0
7	保有資格	6	3.0
8	円滑なコミュニケーション能力	49	24.9
9	社会のルールや約束を守る力	15	7.6
10	協調性	11	5.6
11	その他	1	0.5
	無回答	2	1.0
	N (%ベース)	197	100



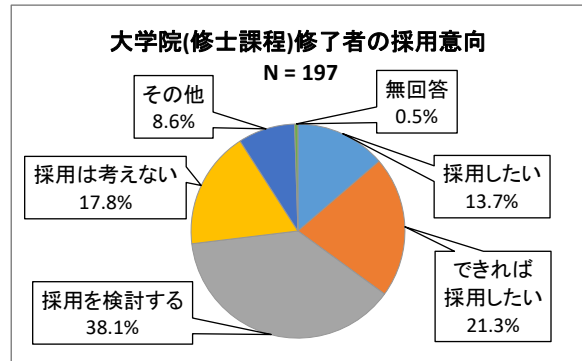
看護職員を採用する際に重視する点(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	看護実践能力	25	12.7
2	倫理観	17	8.6
3	社会貢献に対する積極性	6	3.0
4	管理・指導力	6	3.0
5	問題解決能力	20	10.2
6	学際的・国際的視点	0	0.0
7	保有資格	2	1.0
8	円滑なコミュニケーション能力	48	24.4
9	社会のルールや約束を守る力	20	10.2
10	協調性	45	22.8
11	その他	6	3.0
	無回答	2	1.0
	N (%ベース)	197	100



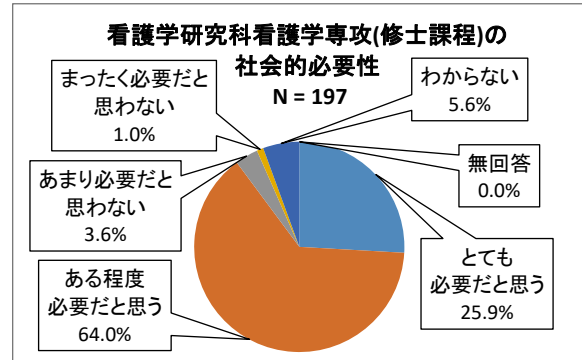
大学院(修士課程)修了者の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	27	13.7
2	できれば採用したい	42	21.3
3	採用を検討する	75	38.1
4	採用は考えない	35	17.8
5	その他	17	8.6
	無回答	1	0.5
	N (% ^{ベ-ス})	197	100



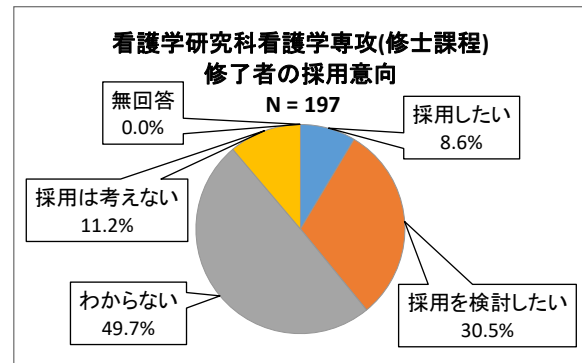
看護学研究科看護学専攻(修士課程)の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	とても必要だと思う	51	25.9
2	ある程度必要だと思う	126	64.0
3	あまり必要だと思わない	7	3.6
4	まったく必要だと思わない	2	1.0
5	わからない	11	5.6
	無回答	0	0.0
	N (% ^{ベ-ス})	197	100



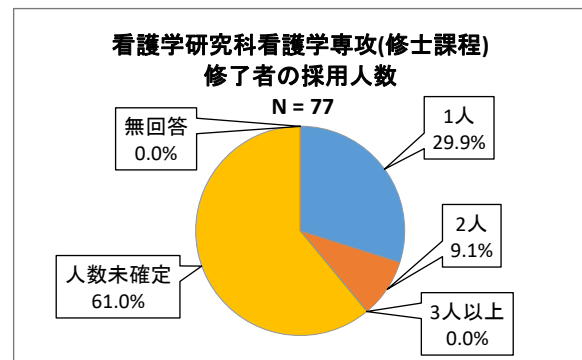
看護学研究科看護学専攻(修士課程)修了者の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	17	8.6
2	採用を検討したい	60	30.5
3	わからない	98	49.7
4	採用は考えない	22	11.2
	無回答	0	0.0
	N (% ^{ベ-ス})	197	100



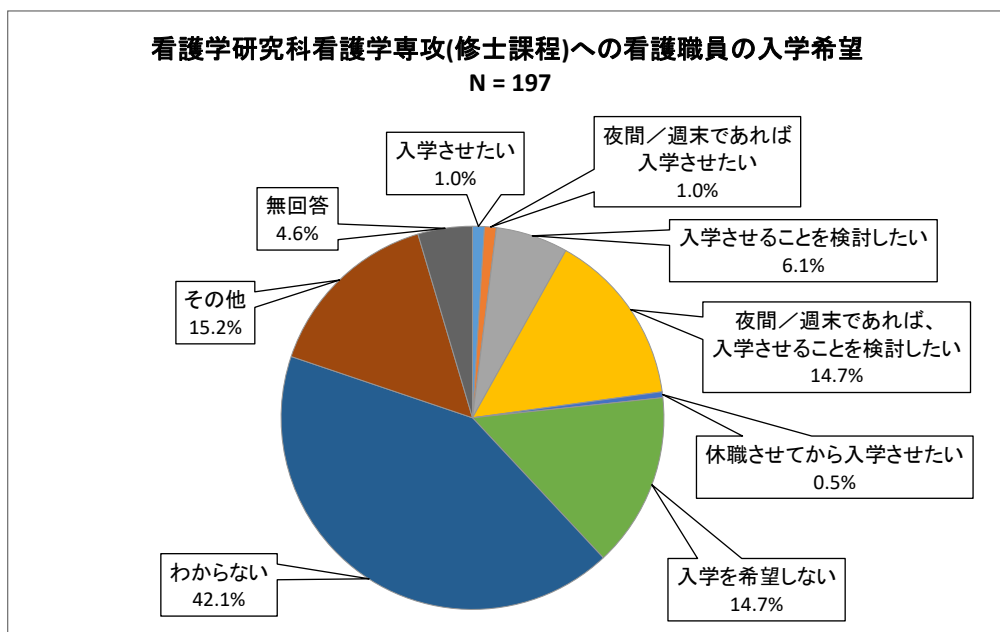
看護学研究科看護学専攻(修士課程)修了者の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	23	29.9
2	2人	7	9.1
3	3人以上	0	0.0
4	人数未確定	47	61.0
	無回答	0	0.0
	N (% ^{ベ-ス})	77	100



看護学研究科看護学専攻(修士課程)への看護職員の入学希望

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学させたい	2	1.0
2	夜間/週末であれば入学させたい	2	1.0
3	入学させることを検討したい	12	6.1
4	夜間/週末であれば、入学させることを検討したい	29	14.7
5	休職させてから入学させたい	1	0.5
6	入学を希望しない	29	14.7
7	わからない	83	42.1
8	その他	30	15.2
	無回答	9	4.6
	N (%ベ-ス)	197	100



看護学研究科看護学専攻(修士課程)への看護職員の入学奨励

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	積極的に勧める	25	12.7
2	一応勧める	20	10.2
3	条件が合えば勧める	112	56.9
4	わからない	25	12.7
5	勧めない	4	2.0
6	その他	9	4.6
	無回答	2	1.0
	N (%ベ-ス)	197	100

